

Dell™ Axim™ X51/X51v
オーナーズマニュアル

メモ、注意、警告



メモ: コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。



注意: ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。



警告: 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

略語について

略語の一覧表は、107 ページの「用語集」を参照してください。

この文書の情報は、事前の通知なく変更されることがあります。

© 2006 すべての著作権は Dell Inc. にあります。

Dell Inc. の書面による許可のない複製は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書に使用されている商標：Dell、DELL のロゴ、Axim、TrueMobile、Dimension、Inspiron、OptiPlex、Latitude、Dell Precision、PowerApp、PowerVault、PowerEdge、PowerConnect、および DellNet は Dell Inc. の商標です。Intel、Pentium、および Celeron は Intel Corporation の登録商標であり、XScale および StrataFlash は Intel Corporation の商標です。Microsoft、Windows、Windows Media、および ActiveSync は Microsoft Corporation の登録商標であり、Windows Mobile は Microsoft Corporation の商標です。Bluetooth は Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、Dell Inc. が使用権を所有します。

本書では、上記記載以外の商標および会社名が使用されている場合がありますが、これらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に帰属するものではありません。

モデル HC03U、HC03UL および HD04U

目次

作業を開始する前に	9
関連情報	9
デルへのお問い合わせ	10
1 はじめに	11
デバイスの開梱	11
正面図、側面図、および背面図	13
正面図および側面図	13
背面図	15
バッテリーの使い方	16
バッテリーの取り付けと取り外し	16
バッテリーの充電	18
Axim の使い方	19
お使いのデバイスの画面モードの変更	20
2 Axim の操作	21
電源ボタンの使い方	21
スタイラスの使い方	21
コンピュータへの接続	22
クレードルの使い方	22
Sync ケーブルの使い方	24
プロジェクタとの接続	25

カードの使い方	26
CompactFlash カード	26
SD メモリカード	27
Axim のリセット	27
ソフトリセット	27
ハードリセット	28
Microsoft® Windows Mobile™ Version 5.0 Software for Pocket PC Premium Edition Mobile 5.0 の使い方	30
ステータスアイコン	30
プログラム	31
プログラムボタン	31
切り替えバー	32
ナビゲーションバーとコマンドバー	33
ポップアップメニュー	34
情報の検索	35
データのバックアップ	36
データのバックアップおよび同期	37
ファイルのドラッグによる手動バックアップ	37
バックアップの確認	38
情報の入力	38
入力パネルによるテキスト入力	39
ソフトキーボードによる入力	40
Letter Recognizer	41
Block Recognizer	41
Transcriber	42

画面への書き込み	42
手書き文字の編集	43
画面での描画	46
絵の作成	46
絵の編集	47
メッセージの録音	47
マイテキストの使い方	48
設定の調整	48
個人用タブ	49
システムタブ	49
接続タブ	50
3 通信とスケジュールの作成	51
Microsoft® ActiveSync® プログラムについて	51
ActiveSync のインストールと使い方	52
Microsoft® Pocket Outlook について	53
分類項目	53
分類項目の作成	53
予定表	54
概要画面の使い方	55
会議のリクエストの作成	55
連絡先	56
連絡先の検索	57
概要画面の使い方	57
仕事	58
メモ	59

受信	60
E-メールメッセージの同期化	60
メールサーバーとの直接接続	60
メッセージ一覧の使い方	61
メッセージの作成	62
E-メールメッセージおよびフォルダの管理	63
通知	64
アイテムのビーム送信	64
File Explorer の使い方	64
4 接続	67
Wi-Fi (802.11b) の使い方	67
ネットワークカードがセットアップ されている場合	68
ワイヤレスネットワークで SSID を ブロードキャストしている場合	68
ワイヤレスネットワークで SSID を ブロードキャストしていない場合	69
Odyssey Client の使い方	70
ネットワークの追加	70
Cisco® LEAP Wireless LAN セキュリティの使い方	72
Odyssey Client を使った証明書の取得方法	73
赤外線 の 使い方	74
Bluetooth® ワイヤレステクノロジーの使い方	74
モデム接続の作成	75
Ethernet 接続の作成	77
VPN 接続の作成	77
接続の終了	78

E-メールサーバーとの直接接続	79
接続方法のヘルプの取得	79
5 プログラムの追加と削除	81
Microsoft® ActiveSync® を使用した	
プログラムの追加	81
インターネットからのプログラムのダウンロード	82
プログラムのスタートメニューへの追加	83
プログラムの削除	83
6 付属プログラムの使い方	85
Word Mobile	85
Excel Mobile	87
Excel Mobile での作業のヒント	88
PowerPoint Mobile	89
MSN Messenger	90
設定	90
連絡先での作業	91
連絡先とのチャット	91
Pocket PC 用 Microsoft Windows Media® Player	92
Internet Explorer Mobile の使い方	92
モバイルのお気に入り	92
メモリの節約	93
モバイルのお気に入りフォルダ	94
お気に入りのリンク	94
モバイルのお気に入りおよびウェブの参照	94

7	メンテナンスと トラブルシューティング	97
	Axim のメンテナンス	97
	診断ユーティリティのインストール	97
	トラブルシューティング	98
	ファイルダウンロードセキュリティ警告	100
8	付録	101
	仕様	101
	用語集	107
	索引	109

作業を開始する前に

関連情報

以下の表には、関連するデバイスまたはコンピュータのマニュアルを参照する際に役立つ情報が記載されています。

何をお探しですか？	こちらをご覧ください
デバイスのセットアップ方法と、デバイスのアクセサリ、コネクタ、ボタンについての情報	セットアップ図 および『Dell™ オーナーズマニュアル』
デバイスの使い方に関する情報	『Dell オーナーズマニュアル』 および Pocket PC ヘルプ メモ ：ヘルプを表示するには、 スタート ボタンをタップして、 ヘルプ をタップします。
デバイスにインストールできる追加プログラム	『Dell Getting Started CD』
デバイスにあるプログラムの使い方	Pocket PC ヘルプ、および利用可能な場合は、プログラムから ヘルプ をタップします。
コンピュータとの接続および同期化の方法	『Dell オーナーズマニュアル』 およびコンピュータの Microsoft® ActiveSync® 『ヘルプ』 『ヘルプ』を表示するには、MS ActiveSync を起動し、 ヘルプ → Microsoft ActiveSync ヘルプ をクリックします。 メモ ：ActiveSync ヘルプに関する詳細は、 http://www.microsoft.com/japan/windowsmobile/help/activesync/default.aspx を参照してください。
最新アップデート情報および詳細技術情報	コンピュータの ActiveSync フォルダと『Dell Getting Started CD』にある readme ファイル
Pocket PC に関する最新情報	www.microsoft.com/japan/windowsmobile および support.jp.dell.com

何をお探ですか？	こちらをご覧ください
マイサービスタグおよびエクスプレスサービスコード	バッテリーの下にあるバッテリースロット（バッテリーを取り除いてください）に貼られたラベル
プロダクトキー	Getting Started CD の COA（認証証明書）ラベルに記載

デルへのお問い合わせ

インターネット上でのデルへのアクセスは、次のアドレスをご利用ください。

- www.dell.com/jp
- support.jp.dell.com（サポート）

デルへお問い合わせになる場合、次の表の E-メールアドレス、電話番号、およびコードをご利用ください。国際電話のかけ方については、国内または国際電話会社にお問い合わせください。

国（市） 国際電話アクセスコード 国番号 市外局番	部署名またはサービス地域、ウェブ サイトおよび E-メールアドレス	市内番号 フリーダイヤル
日本（川崎） 国際電話アクセス コード：001 国番号：81 市外局番：44	ウェブサイト： support.jp.dell.com テクニカルサポート（PDA、プロ ジェクタ、プリンタ、ルーター） 日本以外のテクニカルサポート （PDA、プロジェクタ、プリンタ、 ルーター） Fax 情報サービス 24 時間納期情報案内サービス カスタマーケア ビジネスセールス本部（従業員数 400 人未満） 法人営業本部（従業員数 400 人 以上） 官公庁 / 研究・教育機関 / 医療機関 セールス デルグローバルジャパン 個人のお客様 代表	フリーダイヤル： 0120-981-690 81-44-556-3468 044-556-3490 044-556-3801 044-556-4240 044-556-1465 044-556-3433 044-556-5963 044-556-3469 044-556-1760 044-556-4300

はじめに

Dell Axim X51 および Dell Axim X51v は、デルの最新型 PDA (Personal Digital Assistant) です。Axim X51 はベーシック構成および標準構成、Axim X51v は VGA 表示に対応したハイエンド構成のモデルです。11 ページの「アクセサリ」の表を参照してください。Axim X51/X51v の特徴は次のとおりです。

- ビルトインワイヤレス (標準構成およびハイエンド構成のみ)
- QVGA および VGA 画面
- 小型、軽量
- VGA 出力 (Axim X51v)

デバイスの開梱

Axim PDA には、標準アクセサリと、購入モデルに応じた付属品が同梱されています。デバイスのパッケージには、重要な情報が含まれています。たとえば、『Getting Started CD』のカバーにはプロダクトキー、梱包内容明細書にはオーダー番号が記載されています。これらの情報は、後で確認できるよう書きとめておいてください。

最初にデバイスの梱包を解いたら、以下の付属品一覧を確認してください。付属品が不足している場合は、デルサポートにご連絡ください。10 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

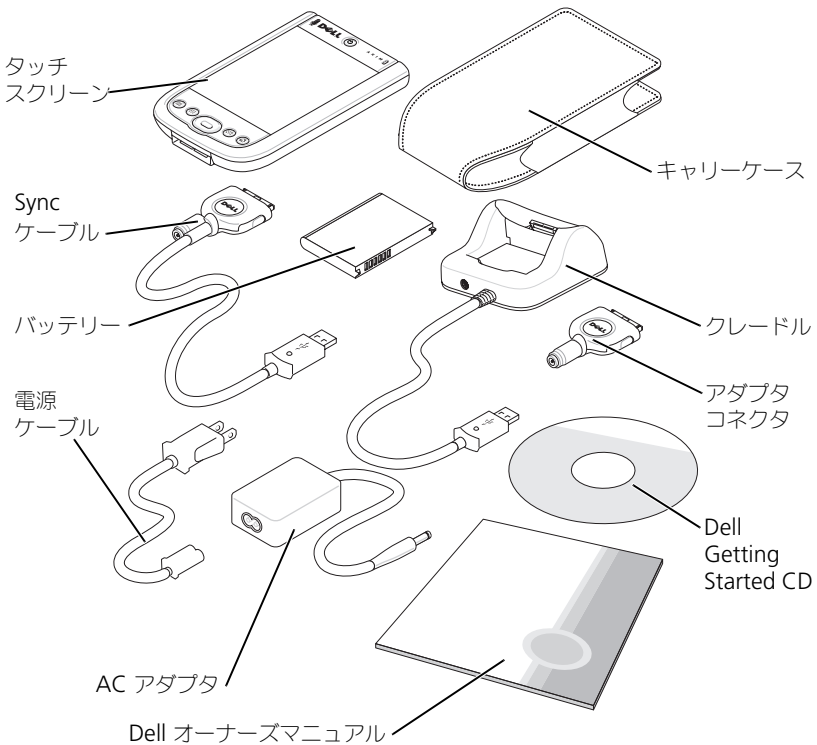
付属品	アクセサリ		
	ハイエンド	標準	ベーシック
Axim X51	624 MHz、 ワイヤレス、 Bluetooth	520 MHz、 ワイヤレス、 Bluetooth	416 MHz、 Bluetooth
クレードル	標準	標準	オプション
USB sync ケーブル	オプション	オプション	標準
アダプタコネクタ	標準	標準	標準
スタンダードキャリーケース	標準	標準	標準
Dell オーナーズマニュアル	標準	標準	標準
Dell Getting Started CD	標準	標準	標準
AC アダプタと電源ケーブル	標準	標準	標準

アクセサリ

付属品	ハイエンド	標準	ベーシック
標準バッテリー（1100 mAh）	標準	標準	標準
大容量バッテリー（2200 mAh）	オプション	オプション	オプション
スクリーンプロテクタ	オプション	オプション	オプション

オプション：別途ご注文いただく必要があります。

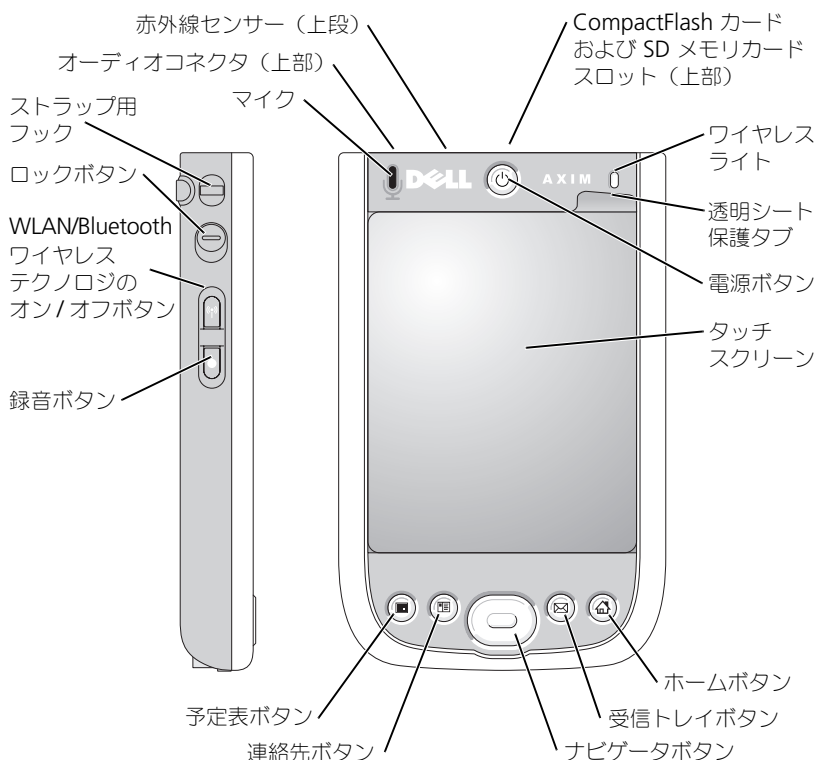
標準およびオプションのアクセサリについては、以下の図を参照してください。



正面図、側面図、および背面図

警告: 以下の手順を実行する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意をよく読み、指示に従ってください。

正面図および側面図



赤外線センサー —赤外線センサーは、ケーブルで接続せずにコンピュータから他の赤外線互換デバイスへファイルを転送することができます。

マイク —音声の録音に使用します。

COMPACTFLASH カードおよび SD メモリカードスロット —CompactFlash カードおよび SD メモリカードの使い方については、26 ページの「カードの使い方」を参照してください。

電源ボタン —電源ボタンを押してデバイスの電源をオンまたはオフにします。ディスプレイを暗くするには電源ボタンを長く押します。ディスプレイを明るくするには、もう一度電源ボタンを長く押します。電源ボタンを使って電源を完全に切るよう設定するには、電源ボタントップを使用します。これにより、バッテリーの消耗を軽減できます。

タッチスクリーン —スタイラスを使用して、タッチスクリーンから情報を入力します。38 ページの「情報の入力」を参照してください。

スクリーンプロテクタ —スクリーンプロテクタは、デバイスのタッチスクリーンを保護するために使用します。タッチスクリーンの寿命を長くするには、使用頻度に応じてプロテクタを交換する必要があります。

ワイヤレス LAN/BLUETOOTH® ワイヤレステクノロジーのオン/オフボタン —ワイヤレスデバイスでは、ボタンを使ってワイヤレス LAN と Bluetooth の両方のオンとオフを切り替えます。ワイヤレス LAN/Bluetooth のオン/オフを確認するには、ボタンを 2 回タップします。ワイヤレスデバイスの電源を切ると、節電することができます。Bluetooth デバイスでは、ボタンを使って Bluetooth のオンとオフを切り替えます。

現在のワイヤレスステータス		スイッチ	新規のワイヤレスステータス	
ワイヤレス LAN	Bluetooth		ワイヤレス LAN	Bluetooth
オフ	オフ	→	オン	オン
オン	オフ		オフ	オフ
オフ	オン		オフ	オフ
オン	オン		オフ	オフ

ホームボタン —ホームを起動したり、デバイスの電源を入れたりします。

ナビゲータボタン —ナビゲータボタンの上下左右を押すと、画面上のカーソルが動きます。選択を決定する場合は中央を押します。

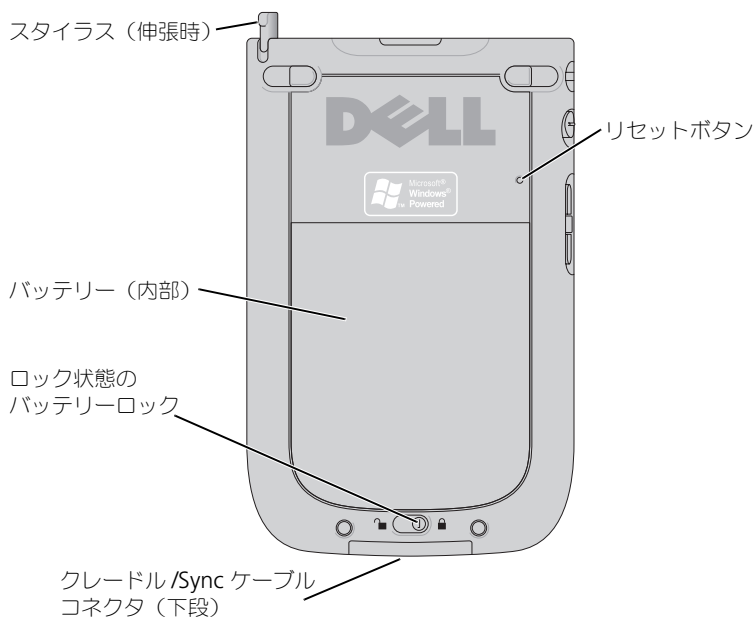
連絡先ボタン —連絡先を起動したり、デバイスの電源を入れたりします。

予定表ボタン —予定表を起動したり、デバイスの電源を入れたりします。

録音ボタン —録音ボタンの使い方に関しては、47 ページの「メッセージの録音」を参照してください。

ロックボタン —デバイスがキーの押し間違いに反応しないよう、デバイスとそのタッチスクリーンをロックするために使用します。

背面図



バッテリーロック —メインバッテリーを取り外します。16 ページの「バッテリーの取り付けと取り外し」を参照してください。

バッテリー —メインバッテリーに関しては、16 ページの「バッテリーの使い方」を参照してください。

クレードル/Sync ケーブルコネクタ —クレードルまたは Sync ケーブルを接続します。22 ページの「コンピュータへの接続」を参照してください。

リセットボタン —リセットボタンの使い方に関しては、27 ページの「Axim のリセット」を参照してください。

スタイラス —スタイラスを使って画面に文字や絵を描くことができます。スタイラスを取り外すには、まっすぐに引き上げてホルダから取り出します。スタイラスを紛失しないよう、スタイラスを使わないときはホルダに入れておきます。スロットに入れなおす際は、スタイラスの向きが正しいことを確認します。

バッテリーの使い方

デバイスには、1100 mAh（ミリアンペア / 時）の標準バッテリーが付属しています。バッテリー使用可能時間は最低 5 ～ 8 時間です。容量の大きい 2200 mAh バッテリーを購入することもできます。2200 mAh バッテリーの使用可能時間は 10 ～ 16 時間です。

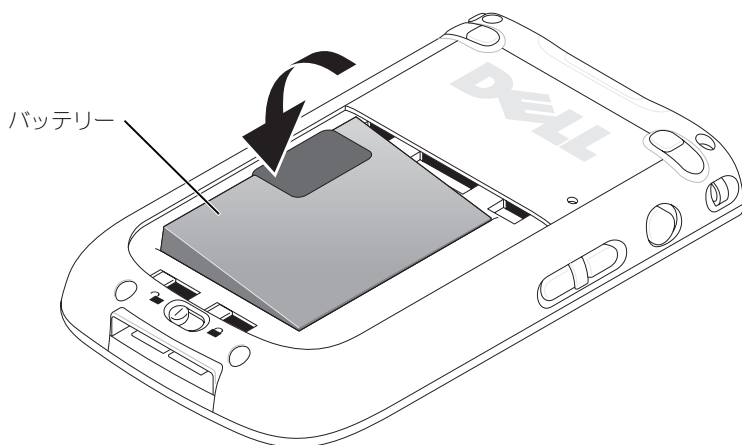
➡ 注意：最初の充電で必ず 8 時間以上メインバッテリーを充電してから、デバイスを使用してください。

デバイスを初めて使用するときは、その前にバッテリーを充電する必要があります。電源ボタンを使ってデバイスの電源を入れます。バッテリーが充電されたら、オペレーティングシステムの指示に従ってデバイスを起動し、Today 画面を表示できます。バッテリーの充電状態をモニタするには、電源ボタンライトを使用します。詳細に関しては、デバイスにある Pocket PC ヘルプを参照してください。

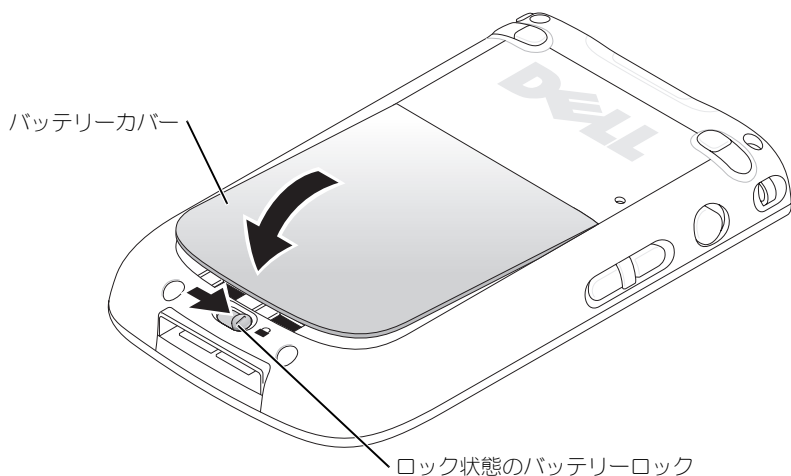
バッテリーの取り付けと取り外し

バッテリーを取り付けるには、次の手順を実行します。

- 1 デバイスの電源がオフになっていることを確認します。
- 2 バッテリーのロックを解除し、バッテリーカバーを取り外します。
- 3 バッテリーの接合部とバッテリースロットの接合部を合わせてバッテリーを差し込み、バッテリーをスロット内に下ろします。

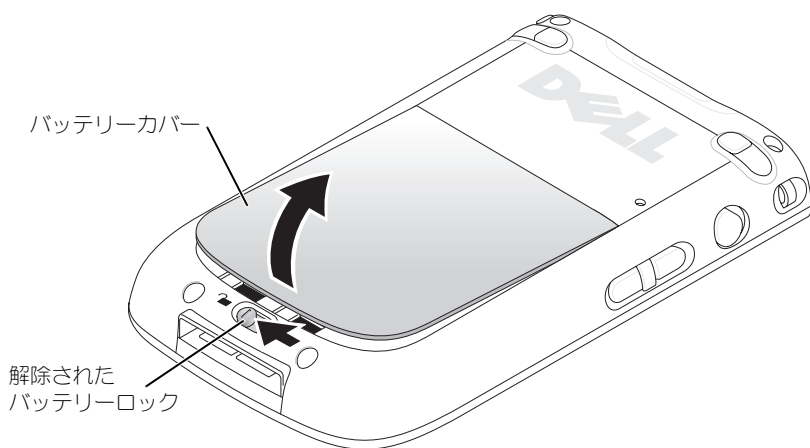


- 4 バッテリーカバーを閉じます。
- 5 バッテリーロックを右側にスライドさせて、バッテリーカバーをロックします。

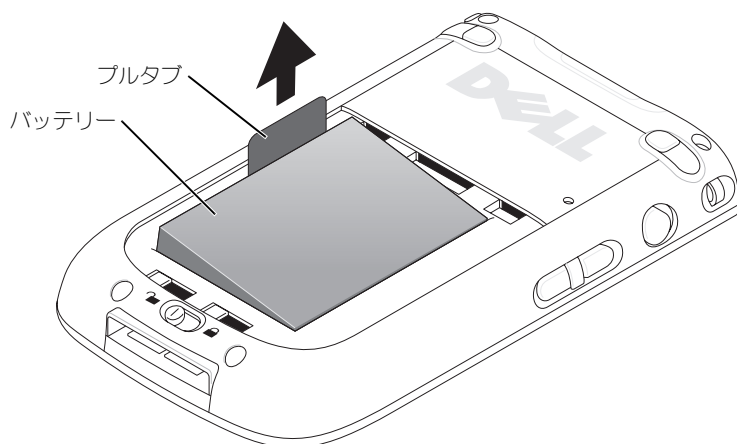


バッテリーを取り外すには次の手順を実行します。

- 1 バッテリーロックを左側にスライドさせて、バッテリーカバーのロックを解除します。
- 2 バッテリーカバーを持ち上げます。



- 3 タブを引き、バッテリーを持ち上げてスロットから取り出します。



メモ: サービスタグは、バッテリースロット内のバッテリー底面にあります。デルサポート (support.jp.dell.com) へのアクセス、デルカスタマーサービスまたはテクニカルサポートへのお問い合わせの際に、サービスタグが必要です。デルエクスプレスサービスコードも、同じ場所に記載されています。

バッテリーの充電

デバイスを初めて使用するときは、その前にバッテリーを充電する必要があります。その後は、バッテリー残量が少なくなる（電源ボタンライトが黄色に点滅する）たびに再充電してください。

メインバッテリーを充電するには、以下の方法のうちの 1 つを実行します。

- AC アダプタを充電アダプタに接続してから、デバイスに接続します。
- AC アダプタを直接 sync ケーブルに接続してから、sync ケーブルをデバイスに接続します。24 ページの「Sync ケーブルの使い方」を参照してください
- AC アダプタをクレードルに接続して、デバイスをクレードルに取り付けます。詳細に関しては、22 ページの「クレードルの使い方」を参照してください。

標準バッテリーパック（1100mAh）の充電は 5 時間以内、大容量のバッテリーパック（2200mAh）の充電は 10 時間以内に完了します。

メインバッテリーが著しく低下すると、デバイスは「スリープ」モードに入り、電源が切れます。

バッテリーが著しく低下している状態から回復するには、次の手順を実行します。

- 1 AC アダプタを差し込むか、メインバッテリーを充電済みのバッテリーと交換します。
- 2 電源ボタンを押してデバイスの電源をオンにします。

デフォルトでは、一定時間デバイスを使用しないまま放置すると、電源が切れます。これをスリープモードと呼びます。電源が切れるまでにデバイスがアイドル状態にある時間を設定する方法については、49 ページの「システムタブ」を参照してください。

節電のために Axim の電源を切っても、データが失われることはありません。データはフラッシュ ROM に保存されるので、スイッチを切ってもデータは失われません。

Axim の使い方

デバイスの電源を入れると、**Today** 画面が表示されます。**スタート** ボタンをタップし、**Today** をタップして、**Today** 画面を表示することもできます。**Today** 画面には、日付、オーナー情報、今日の予定表、および重要な仕事が表示されます。**Today** 画面をカスタマイズするには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** → **設定** をタップします。
- 2 **個人用** タブ → **Today** をタップします。
Today 画面に表示される壁紙を変更するには、**デザイン** タブを使います。
Today 画面に表示される項目を変更するには **アイテム** タブを使います。

スタート ボタン 接続アイコン 音量調節アイコン




Bluetooth®
ワイヤレス
テクノロジーの
接続ステータス
アイコン

お使いのデバイスの画面モードの変更

Microsoft® Windows Mobile™ Version 5.0 software for Pocket PC Premium Edition を搭載した Axim X51/X51v では、画面を縦横どちらの方向でも表示できます。

画面モードを横長から縦長に変更するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** → **設定** をタップします。
- 2 **設定** ウィンドウで、**システム** → **画面** をタップします。
- 3 **画面** ウィンドウで、**Portrait**（縦長）をタップして縦長モードを選択します。

 **メモ:** 画面モードを縦長から横長に変更する場合は、**Landscape**（横長）をタップします。

- 4 **OK** をタップしてウィンドウを閉じます。

Axim の操作

電源ボタンの使い方

電源ボタンを押してデバイスの電源をオンまたはオフにします。ディスプレイを暗くするには電源ボタンを長く押しします。これを節電モードと呼びます。ディスプレイを明るくするには、もう一度電源ボタンを長く押しします。電源ボタンで電源を完全に切るよう設定するには、**電源ボタン** タブを使用します。これにより、バッテリーの消耗を軽減できます。

- デバイスが外部電源に接続され、メインバッテリーが十分に充電されている場合、電源ボタンライトは緑色に点灯します。
- メインバッテリーの充電が少なくなると、電源ボタンライトは黄色に点滅します。
- バッテリーの充電中は、電源ボタンライトは黄色に点灯します。
- デバイスが通知を中継する際は、電源ボタンライトは緑色に速く点滅します。



メモ: バッテリー充電量が著しく低下した場合、日付と時間の設定は 168 時間維持されます。電源 (AC アダプタまたはメインバッテリー) が切れた場合、日付と時間の設定は 5 分間保持できます。Axim の電源切れ状態が 5 分を超過すると、日付と時間の設定は失われます。ただし、フラッシュ ROM に保存されたデータは残ります。

スタイラスの使い方

お使いのデバイスには、アイテムを選択したり、情報を入力するためのスタイラスが付いています。デバイスでは、マウスの代わりにスタイラスを使います。

- **タップ** — 項目を呼び出したり、オプションを選ぶには、スタイラスで画面を 1 回軽くたたきます。
- **ドラッグ** — スタイラスを画面上でホールドしたまま、ドラッグしてテキストや画像を選択します。一覧で複数の項目を選択するときも、ドラッグします。
- **タップ&ホールド** — スタイラスを項目の上で軽くたたいてホールドし、その項目で利用可能なオプションの一覧を表示します。表示されたポップアップメニュー内で、実行するオプションをタップします。

詳細に関しては、38 ページの「情報の入力」を参照してください。

コンピュータへの接続


デバイスをコンピュータに接続するには、クレードルを使用するか、または sync ケーブルを使って直接接続します。デバイスをコンピュータに接続すると、以下を実行することができます。

- お使いのデバイスへのプログラムの追加。詳細に関しては、81 ページの「Microsoft® ActiveSync® を使用したプログラムの追加」を参照してください。
- お使いのコンピュータ上のデータとデバイス上のデータの同期化。


データの同期化に関しては、以下を参照してください。

- お使いのコンピュータの ActiveSync ヘルプ
- お使いのデバイスの ActiveSync ヘルプ

クレードルの使い方

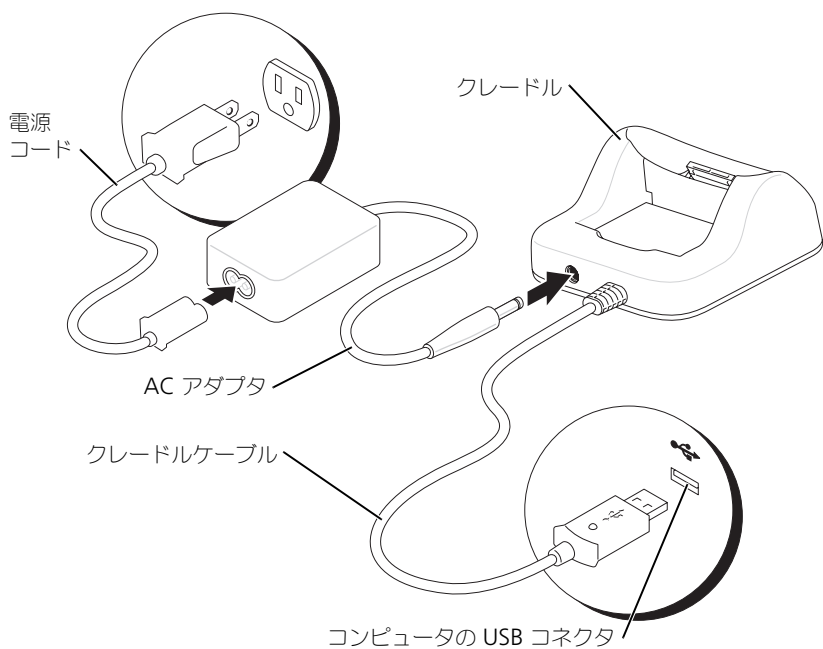
 **メモ:** お使いのデバイスの構成によっては、クレードルはオプションになります。クレードルを使って、以下のことができます。

- お使いのコンピュータ上のデータとデバイス上のデータの同期化。
- デバイスをコンセントに接続し、バッテリーを節約。
- メインバッテリーの充電。詳細に関しては、16 ページの「バッテリーの使い方」を参照してください。
- 予備バッテリーの充電。予備バッテリーはオプションです。

 **メモ:** デバイスをコンピュータに初めて接続するときは、その前に『Dell™ Getting Started CD』を使ってコンピュータに ActiveSync をインストールします。

お使いのデバイスをクレードルに接続するには、次の手順を実行します。

- 1 AC アダプタをクレードルに接続し、コンセントに接続します。
- 2 Axim をお使いのコンピュータ近くのドッキングクレードルに置きます。
- 3 USB sync ケーブルをクレードルとコンピュータに接続します。



デバイスがクレードルに接続（ドッキング）されると、デバイスの電源ボタンがオンになり、接続ステータスアイコンがコマンドバーに表示されます（30 ページのを参照）。

 **メモ：**デバイスの電源ボタンは、メインバッテリーの充電状況を示します。詳細に関しては、21 ページの の電源ボタンライトの説明を参照してください。


クレードルの予備バッテリーのステータスライトは、以下のように動作します。

- 緑色 — 予備バッテリーは、完全に充電されています。
- 黄色 — 予備バッテリーは、充電中です。

クレードルからデバイスを取り外すには、クレードルからデバイスをまっすぐに引き上げます。


Sync ケーブルの使い方

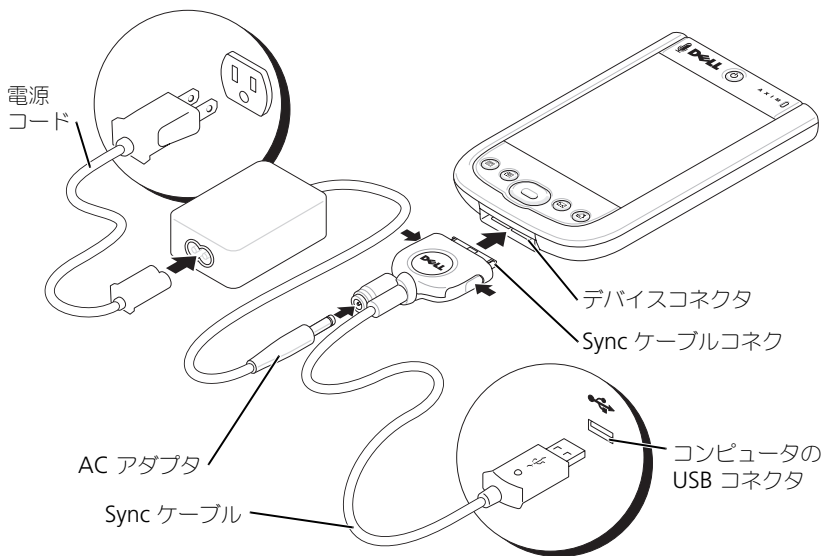
Sync ケーブルを使って、クレードルを使用せずにお使いのデバイスをコンピュータに直接接続できます。

 **メモ：**デバイスの構成によっては、Sync ケーブルはオプションになります。

Sync ケーブルを接続するには、次の手順を実行します。



- 1 Sync ケーブルをお使いのデバイスに接続します。Dell のロゴが上向きであることを確認します。
- 2 ケーブルの USB コネクタをコンピュータの USB コネクタに接続します。

 **注意：**Sync ケーブルコネクタの損傷を防ぐため、コネクタを抜き差しする前に、コネクタ横の 2 つのボタンを押してロックを解除してください。



プロジェクタとの接続

VGA ケーブルを使って、デバイスをプロジェクタに接続できます。

-  **メモ**：VGA 表示オプションは、Axim X51v モデルでのみ使用できます。ご注文いただいていない場合、VGA ケーブルは付属していません。
-  **メモ**：デバイスでプロジェクタが検出されるようにするには、『Dell Getting Started CD』から **Viewer** プログラムをインストールする必要があります。プログラムの設定に関しては、プログラムの **ヘルプ** の項を参照してください。

デバイスをプロジェクタに接続するには、VGA ケーブルの **Sync** コネクタをデバイスに接続し、次に VGA ケーブルのその他のコネクタをプロジェクタに接続します。**Viewer** プログラムを実行すると、デバイスでプロジェクタが検出されます。

カードの使い方

お使いのデバイスの本体上部には、2つのスロットがあります。大きいほうのスロットは、CompactFlash タイプ II カード用です。小さいスロットは、Secure Digital (SD) メモリカード、Secure Digital I/O (SDIO) カード、および MultiMediaCard (MMC) に使用します。これら3種類のメモリカードのサイズは、いずれも 64 MB ~ 1 GB または 2 GB です。

CompactFlash カード

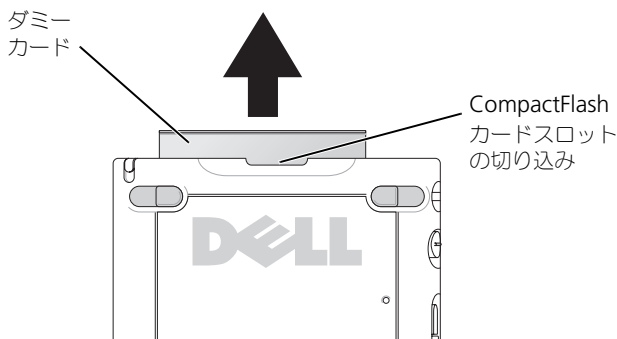
お使いのデバイスは CompactFlash タイプ II カードをサポートしています。一般的なカードのタイプには以下があります。

- モデム — モデムのデータ通信用に電話回線を接続します。
- ワイヤレス通信 — ケーブル接続を使用せずにデータ通信を行います。Bluetooth ワイヤレステクノロジーや 802.11b ワイヤレス LAN の内部カードなどを使用できます。
- ストレージ — ストレージカードにデータを保存したり、プログラムをインストールしたりします。

CompactFlash カードが取り付けられていない場合は、CompactFlash カードスロットを保護するためにプラスチックのダミーカードを挿入します。

CompactFlash カードを取り付けるには、次の手順を実行します。

- 1 ダミーカードが取り付けられている場合は、それを取り外します。



- 2 CompactFlash カードの後部にあるタブを CompactFlash カードスロットの切り込みに合わせ、カードをスロット内にスライドします。

➡ 注意: カードを無理に押し込まないでください。抵抗を感じる場合は、カードを取り出し、挿入方向を確認して、再度取り付けます。

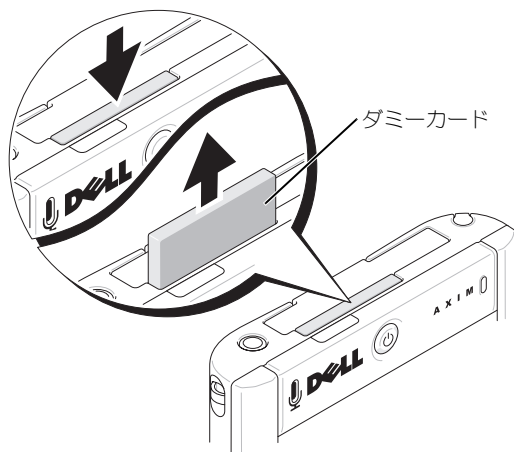
詳細に関しては、カードに同梱のマニュアルを参照してください。

SD メモリカード

SD メモリカードは、データの保存またはバックアップに使用します。

SD メモリカードを取り付けるには、次の手順を実行します。

- 1 カードまたはプラスチックのダミーカードが既に取り付けられている場合、カードを押し込んでリリースしてから取り出します。



- 2 カードの取り付け方向が正しいか確認して、カチッと収まるまでスロットにスライドします。

➡ 注意: カードを無理に押し込まないでください。抵抗を感じる場合は、カードを取り出し、挿入方向を確認して、再度取り付けます。

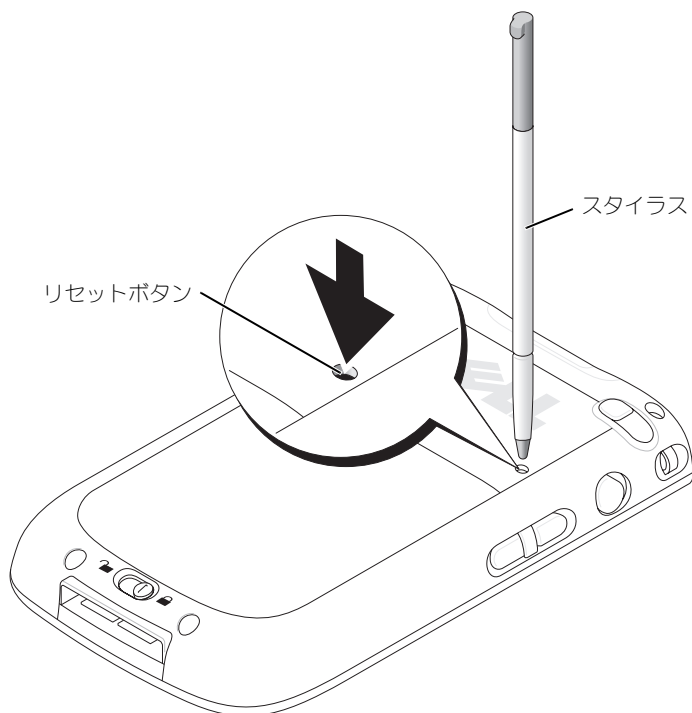
詳細に関しては、カードに同梱のマニュアルを参照してください。

Axim のリセット

ソフトリセット

ソフトリセットを実行すると、フラッシュメモリに保存されていないデータおよびアクティブなプログラムはすべて削除されます。つまり、保存されたファイルとプログラムは削除されません。ディスプレイをタップしたり、ボタンを押してもデバイスが応答しない場合は、ソフトリセットを実行します。Axim がフルパワーオフモードの場合、ソフトリセットは無効になります。

ソフトリセットを実行するには、スタイラスを使ってリセットボタンを押します。



ハードリセット

➡ **注意:** ハードリセットを実行すると、お使いのデバイスのフラッシュメモリに保存したデータ、およびデバイスにインストールしたプログラムはすべて失われます。

ハードリセットは、以下の場合に実行します。

- デバイスを工場出荷時のデフォルト設定に戻す場合。
- パスワードを忘れて、現在設定されているパスワードをリセットする場合。
- デバイスの動作に重大な不具合があり、ソフトリセットを既に試している場合。

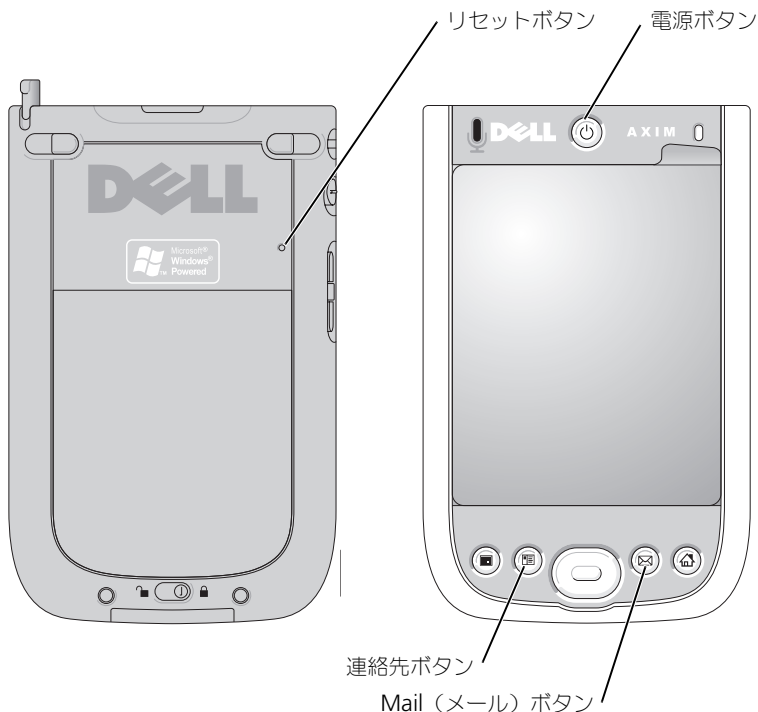
➡ **注意:** ハードリセットを実行する前に、データをバックアップするよう強くお勧めします。

ハードリセットを行うには、次の手順を実行します。

- 1 電源ボタンを押して Axim の電源を入れます。
- 2 Axim スタイルラスを使用してリセット ボタンを押す間、電源 ボタンを押し続けます。
- 3 電源 ボタンと リセット ボタンを離します。

To clear all data in the memory (メモリ内のデータのクリア) 画面が表示されます。


- 4 Axim の **連絡先** ボタンを押して Axim のメモリ内のデータをすべて削除します。
- 5 データを失わずにこの操作をキャンセルするには、Axim の **Mail** (メール) ボタンを押します。














Microsoft® Windows Mobile™ Version 5.0 Software for Pocket PC Premium Edition Mobile 5.0 の使い方

Windows Mobile 5.0 オペレーティングシステムは、多数の新機能を備え、インターフェースも改善されています。画面表示とタッチパッドは、コンピュータ向けの Windows™ XP とほぼ同じです。RAM は、アプリケーションの実行にのみ使用されます。すべてのアプリケーション、PIM データ、およびファイルはフラッシュ ROM に保存されます。詳細に関しては、www.microsoft.com/japan/ の Web サイトを参照してください。

ステータスアイコン

 **メモ:** 通知アイコンをすべて表示するスペースがお使いのデバイスにない場合、アイコンをタップすると隠れているアイコン一覧を表示できます。

アイコン	説明
	新着 E-メールまたはテキストメッセージ (SMS)
	新着インスタントメッセージ
	バッテリーレベル
	バッテリーの低下
	バッテリーの充電
	バッテリー残量なし
	同期エラー
	音量オフ
	Bluetooth

アイコン	説明
	Wi-Fi オン
	Wi-Fi データコール
	ヘルプアイコン

プログラム

スタート メニューからプログラムを選んで、別のプログラムに切り替えることができます。**スタート** メニューの一覧に表示されていないプログラムにアクセスするには、**スタート** → **プログラム** をタップして、プログラム名をタップします。




メモ: いくつかのプログラムには、チェックボックスやドロップダウンメニュー用の省略名があります。正式名を表示するには、省略名の上でスタイラスをタップ&ホールドします。コマンドが実行されないよう、名前の外にスタイラスをドラッグしてください。


プログラムボタン

プログラムボタンを押して、いくつかのプログラムに切り替えることもできます。お使いのデバイスの正面には、4つのプログラムボタンがあります。起動するプログラムは、ボタン上にアイコンで示されています。デフォルトで、ボタンは、ホーム、受信、連絡先、および予定表を起動します。

切り替えバー








切り替えバーを使って、プログラムを切り替えたり、閉じることもできます。切り替えバーを起動するには、次の手順を実行します。





- 1 **スタート** → **設定** をタップします。
- 2 **システム** → **切り替えバー** をタップします。
切り替えバーアイコン  がナビゲーションバーに表示されます。

実行中のすべてのプログラムを表示するには、 をタップします。**切り替えバー** メニューで、以下を実行することができます。

- **輝度設定** または **電源設定** をタップして、輝度の設定および電源設定を調整します。
- プログラム名をタップして、そのプログラムに切り替えます。
- **現在のプログラムを終了** をタップして、現在のプログラムを終了します。
- **すべてのプログラムを終了** をタップして、実行中のプログラムをすべて終了します。
- **切り替えバーを終了** をタップして、メニューを閉じます。

以下の表に、お使いのデバイスにあるプログラムの一部を示します。お使いのデバイスにインストールできる追加プログラムに関しては、『Dell™ Getting Started CD』を参照してください。

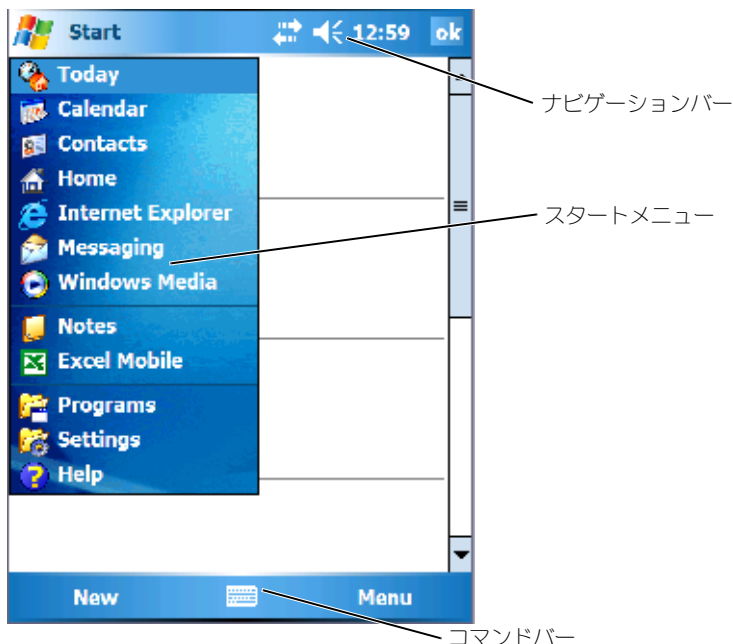
アイコン	プログラム	説明
	ActiveSync	デバイスとコンピュータ間のデータを同期化します。
	予定表	予定を記録したり、会議のリクエストを作成します。
	連絡先	友人や同僚のデータを記録します。
	受信	E-メールメッセージの送受信を行います。
	Internet Explorer Mobile	ウェブサイトや WAP サイトの参照、およびインターネットからの新しいプログラムやファイルのダウンロードを行います。
	メモ	手書きまたはタイプしたメモの作成、描画、または録音を行います。
	仕事	仕事を記録します。

アイコン	プログラム	説明
	Excel Mobile	新しいワークブックの作成またはお使いのコンピュータで作成した Excel ワークブックの表示や編集を行います。
	Pocket MSN	MSN Messenger に保存されている連絡先とインスタントメッセージを送受信します。
	Word Mobile	新しい文書の作成およびお使いのコンピュータで作成した Word 文書の表示や編集を行います。
	PowerPoint Mobile	PowerPoint プレゼンテーションのスライドを表示します。

ナビゲーションバーとコマンドバー

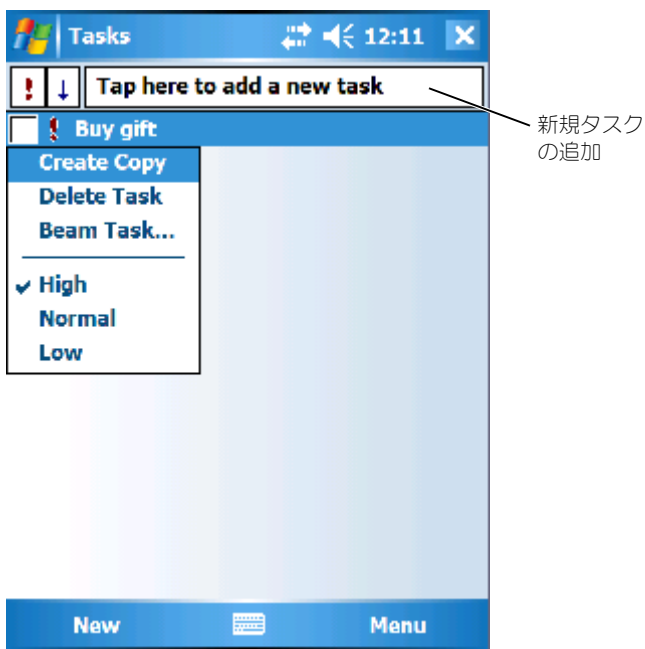
ナビゲーションバーは、画面の上部にあり、実行中のプログラムおよび現在の時刻を表示します。また、このバーを使って、別のプログラムに切り替えたり、画面を閉じることができます。

画面の下部のコマンドバーを使って、プログラム内でタスクを実行します。コマンドバーにはメニュー名、アイコン、および入力パネルアイコンがあります。現在のプログラムで新規アイテムを作成するには、**新規** をタップします。アイコン名を表示するには、アイコン上でスタイラスをタップ&ホールドします。コマンドが実行されないよう、アイコンの外にスタイラスをドラッグします。



ポップアップメニュー

ポップアップメニューを使うと、項目の操作を簡単に選ぶことができます。たとえば、連絡先一覧内でポップアップメニューを使用すると、連絡先の削除、コピーの作成、連絡先への E-メールメッセージの送信ができます。ポップアップメニューでの動作は、プログラムによって異なります。ポップアップメニューにアクセスするには、項目名の上でスタイラスをタップ&ホールドします。メニューが表示されたら、スタイラスを離し、実行する操作をタップします。操作を実行せずにメニューを閉じるには、メニューの外でタップします。

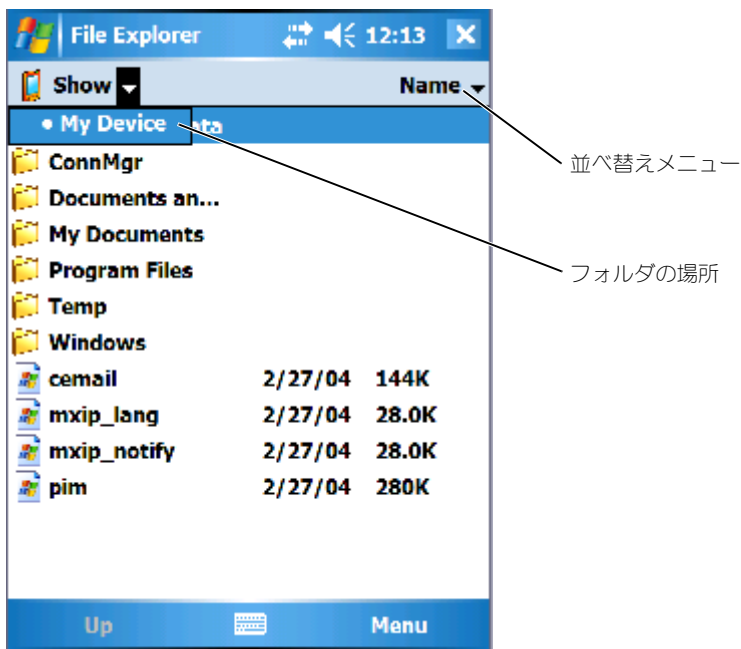


情報の検索

デバイスの検索機能を使って、データを簡単に見つけることができます。ファイルまたはその他のアイテムを検索するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** → **プログラム** → **検索** をタップします。
- 2 **Search for** (検索対象) に、ファイル名や単語など、探している情報を入力します。
この情報を以前検索したことがある場合は、**Search for** (検索対象) 矢印をタップし、一覧からアイテムを選択します。
- 3 **タイプ** でデータタイプを選択し、検索対象を絞り込みます。
- 4 **検索** をタップします。
マイドキュメント フォルダとサブフォルダ内が検索されます。
- 5 **検索結果** 一覧から、開くアイテムをタップします。

File Explorer を使って、デバイス上のファイルを検索したり、ファイルをフォルダに整理することもできます。**スタート** メニューで、**プログラム** → **File Explorer** をタップします。



データのバックアップ

データの損失を防ぐため、またはデータの損失を最小限にするため、お使いのデバイス上のデータは定期的にバックアップしてください。お使いのコンピュータ上のファイルとデバイス上のファイルを同期するには、**ActiveSync** を使います。**Windows** エクスプローラを使って、デバイスとコンピュータ間でファイルをドラッグ&ドロップすることもできます。詳細に関しては、コンピュータの **ActiveSync ヘルプ** を参照してください。さらに、52 ページの「ActiveSync のインストールと使い方」も参照してください。

ActiveSync を使用してバックアップファイルを作成し、ファイルをホストコンピュータに保存します。2 種類のファイルのバックアップ方法については、37 ページの「データのバックアップおよび同期」および 37 ページの「ファイルのドラッグによる手動バックアップ」を参照してください。

データのバックアップおよび同期

同期はお使いの Axim にあるデータとホストコンピュータのデータを比較し、両方を最新のデータにアップデートします。ActiveSync はすべてのタイプのデータを自動的に同期しません。同期は**オプション**設定で選択されたデータタイプのみをバックアップします。オプションは標準のパートナーシップを確立するとき最初に選択され、Microsoft ActiveSync ウィンドウのオプションアイコンをクリックするといつでも変更できます。ActiveSync は自動的にお使いのホストコンピュータの **マイドキュメント** フォルダに、**Pocket PC マイドキュメント** というフォルダを作成します。また、同期されたデータを収納するために、ホストコンピュータのデスクトップにショートカットが作成されます。

同期には次の二種類があります。

Automatic synchronization (自動同期) — ドッキングによって ActiveSync が有効になり、間隔が設定されると、データは自動的にバックアップされます。


Manual synchronization (手動同期) — 自動同期の機能がオフになっている場合は、**Sync** ボタンを使用していつでも同期のプロセスを開始し、ファイルをバックアップすることができます。

手動同期を開始するには、次の手順を実行します。

- 1 Axim をホストコンピュータに接続します。
- 2 お使いのホストコンピュータの Microsoft ActiveSync 画面で **Sync** ボタンをクリックします。

同期が開始され、画面の下部にステータスが表示されます。

ファイルのドラッグによる手動バックアップ

 **注意** : オプション 設定で選択されていないファイルは、手動でバックアップする必要があります。手動でバックアップしたファイルは、お使いのホストコンピュータのデスクトップの別のフォルダにドラッグできます。

パートナーシップを確立するとき、または **Sync Option** (Sync オプション) の選択を変更して選択されたデータタイプのみが、自動的にバックアップ (同期) されます。その他のデータは、ファイルを手動でお使いのホストコンピュータの、別のフォルダにドラッグしてバックアップすることができます。

例えば、デスクトップに **Other Axim Files** (その他の Axim ファイル) という名前のフォルダを作成します。自動的に保存されないファイルを **Other Axim Files** (その他の Axim ファイル) に収納します。

- 1 **Microsoft ActiveSync** 画面で **エクスプローラ** をクリックします。**モバイルデバイス** ウィンドウが表示されます。
- 2 **モバイルデバイス** ウィンドウで、ファイルまたはフォルダを検索します。
- 3 ファイルまたはフォルダを選択し、お使いのホストコンピュータの **Other Axim Files** (その他の Axim ファイル) フォルダにドラッグします。

バックアップの確認

お使いのホストコンピュータで、必要なデータがすべてバックアップされたことを確認します。Windows Mobile Version 5.0 for Pocket PC Premium Edition をアップグレードする以前のデータで、バックアップされていないデータは、すべて失われます。次のアイテムを確認してください。


- Outlook の E-メール受信トレイ
- Outlook のカレンダーエントリ
- Outlook の連絡先
- Outlook のタスクエントリ
- Outlook のメモ
- お気に入り
- **Pocket_PC マイドキュメント** フォルダに自動的に同期され、収納されたファイル
- お使いのホストコンピュータの、**Other Axim Files** (その他の Axim ファイル) フォルダに手動でドラッグされたファイル
- **Other Axim Files** (その他の Axim ファイル) フォルダにドラッグされた以前の ROM

情報の入力

データ入力には、以下の方法があります。

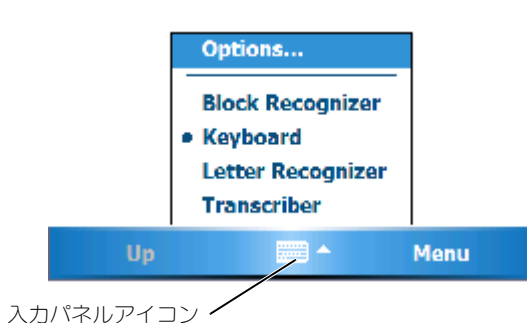
- ソフトキーボードまたは他の入力方法を使って、タイプした文字を入力パネルに入力します。
- スタイラスを使って、画面に直接文字を書いて入力します。
- スタイラスを使って、画面に直接絵を描いて入力します。
- デバイスのマイクに発話して、メッセージを録音します。

Microsoft® ActiveSync® を使用して、情報を同期化したり、お使いのコンピュータからデバイスに情報をコピーしたりします。詳細に関しては、お使いのコンピュータの **ActiveSync ヘルプ** を参照してください。

 **メモ**：使用する言語によっては、ここで説明する機能の一部がオペレーティングシステムでサポートされていない場合があります。

入力パネルによるテキスト入力

入力パネルを使って、デバイス上の任意のプログラムで情報を入力できます。ソフトキーでタイプするか、**Letter Recognizer**、**Block Recognizer**、または **Transcriber** を使ってスタイラスで文字を入力します。入力した文字は、タイプされた文字として画面に表示されます。



入力パネルの表示 / 非表示を切り替えるには、入力パネルアイコンをタップします。入力パネルアイコンの横にある矢印をタップして、入力方法を変更します。

入力パネルを使う際、デバイスはタイプ中または入力中の単語を予測して、入力パネルの上に表示します。表示された単語をタップすると、単語が挿入位置に挿入されます。デバイスは、使用するほど学習するので、予測する単語が増えます。



候補単語のオプション（候補単語の数など）を変更するには、次の手順を実行します。

- 1 スタート → 設定 → 個人用 → 入力 とタップします。
- 2 **Word Completion**（ワードコンプリート）タブをタップします。
- 3 希望の設定を選んで、**OK** をタップします。

ソフトキーボードによる入力

- 1 入力選択矢印をタップし、**キーボード** をタップします。
- 2 スタイラスで、ソフトキーボード上のキーをタップします。

Letter Recognizer

Letter Recognizer を使って、紙に書くようにスタイラスで画面に文字を手書き入力できます。



メモ : Letter Recognizer は、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語のオペレーティングシステムに付属しています。Letter Recognizer は、他のバージョンには対応していません。

- 1 入力選択矢印をタップし、**Letter Recognizer** をタップします。
- 2 指定された書き込み領域に、文字、数字、記号を書き込みます。
 - 大文字を入力する場合は、ボックスの **ABC** (左) 領域に書き込みます。
 - 小文字を入力する場合は、ボックスの **abc** (中間) 領域に書き込みます。
 - 数字を入力する場合は、ボックスの **123** (右) 領域に書き込みます。
 - 句読点と記号を入力する場合は、ボックスの任意の領域をタップしてから、文字を書き込みます。

文字は画面でタイプされた文字に変換されます。**Letter Recognizer** の特定の使い方に関しては、手書き入力領域の横にある疑問符 (?) をタップします。



メモ : デバイスが認識できる字画を参照するには、**Demo** (デモ) をタップします。

Block Recognizer

Block Recognizer を使って、他のハンドヘルドデバイスと同様の字画を使うことができます。



メモ : Block Recognizer は、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語のオペレーティングシステムに付属しています。Block Recognizer は、他のバージョンには対応していません。

- 1 入力選択矢印をタップし、**Block Recognizer** をタップします。
- 2 指定された書き込み領域に、文字、数字、記号を書き込みます。
 - 文字を入力する場合は、ボックスの **abc** (左) 領域に書き込みます。
 - 数字を入力する場合は、ボックスの **123** (右) 領域に書き込みます。
 - 記号と句読点を入力する場合は、ボックスの任意の領域をタップしてから、文字を書き込みます。

文字は画面でタイプされた文字に変換されます。**Block Recognizer** の特定の使い方に関しては、手書き入力領域の横にある疑問符 (?) をタップします。



メモ : デバイスが認識できる字画を参照するには、**Demo** (デモ) をタップします。

Transcriber

Transcriber を使って、紙に書くのと同様に、スタイラスで画面のどの場所にも文字を書くことができます。Letter Recognizer（文字入力）や Block Recognizer（字画入力）と異なり、文章を書いて少し待つと、Transcriber が手書きで入力された文字をタイプした文字に変換します。

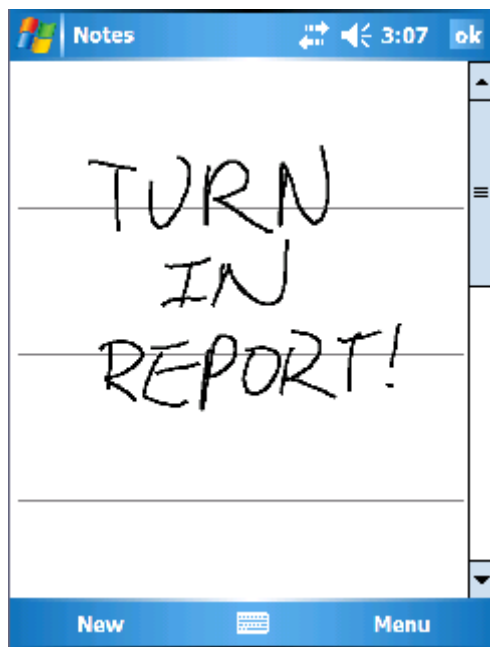


メモ：Transcriber は、英語、フランス語、およびドイツ語のオペレーティングシステムに付属しています。Transcriber は、他のバージョンには対応していません。

- 1 Word Mobile などのプログラムを起動します。
- 2 画面下部中央にある入力パネルアイコンをタップし、アイコンの右側にある入力選択矢印をタップします。
- 3 **Transcriber** をタップします。
Transcriber の紹介画面が表示されます。
- 4 画面のどこにでもスタイラスを使って文字を書くことができます。
入力を中断すると、Transcriber が手書きで入力された文字をタイプした文字に変換します。Transcriber の特定の使い方に関しては、画面の右下にある疑問符 (?) をタップします。

画面への書き込み

メモプログラムやプログラムの中の **メモ** タブなど、手書きで文字が入力できるプログラムでは、スタイラスで画面に文字を直接手書きで入力できます。手書きで入力したものを後で編集したり、フォーマットしたり、あるいは情報をテキストに変換できます。

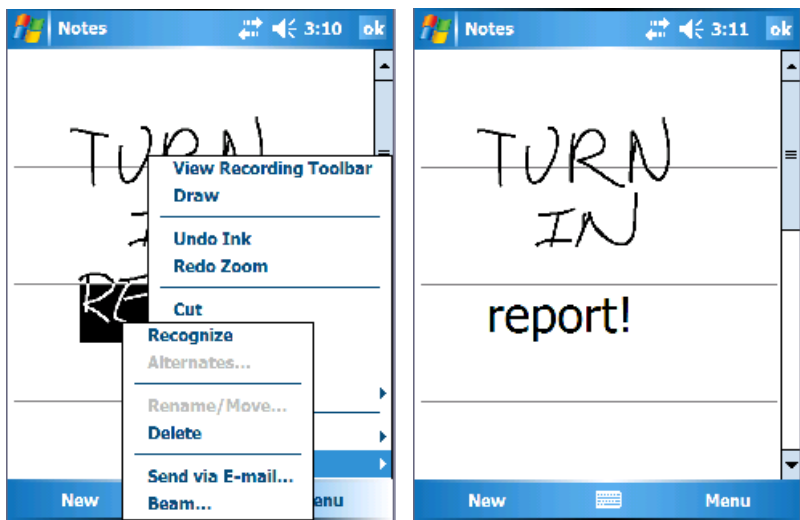


手書き文字の編集

手書き文字を編集またはフォーマットするには、次の手順を実行します。

- 1 選択する文字をスタイラスでドラッグします。
- 2 選択した文字でタップ&ホールドします。
- 3 ポップアップメニューの適切な編集コマンドをタップします。
画面下部の **メニュー** → **編集** をタップして、編集コマンドを選択することもできます。

手書き入力文字を活字体に変換するには、**メニュー** → **ツール** をタップし、**Recognize**（認識）をタップします。



特定の単語のみを変換する場合、**Recognize**（認識）をタップする前に単語を選びます（または、選択した単語をタップ&ホールドして、ポップアップメニューの**Recognize**（認識）をタップします）。単語が認識されない場合は、活字体に変換されません。

変換が間違っている場合、候補一覧から別の単語を選ぶか、元の手書き入力文字に戻ることができます。

- 1 間違って変換された文字をタップ&ホールドします。
- 2 ポップアップメニューで、**Alternates**（候補単語）をタップします。
候補単語一覧のあるメニューが表示されます。
- 3 正しい単語をタップするか、メニュー上部にある手書き入力文字をタップすると、元の手書き入力文字に戻ります。




認識率を高めるには、以下を実行します。

- 文字をきれいに書きます。
- ライン上に書きます。線の下に延びる文字は、線の下まで書きます。「t」の横棒、およびアポストロフィーは、上のラインに書かれている単語と混乱されないよう、上のラインより下に書きます。ピリオドとコンマはラインより上に書きます。
- 認識率を上げるため、メニュー → **Zoom** (ズーム) をタップしてズーム倍率を **300 %** に変更してみてください。
- 単語の始まりと終わりがわかるよう、1 つの単語内の文字は近づけ、単語と単語の間にスペースを入れます。
- ハイフンで結ばれた単語、アクセント記号など特殊な文字を使う外来語、句読点の一部は変換されません。
- 一度認識された単語に、手書き入力で文字を追加することはできません。単語を削除してから新しい単語を入力します。

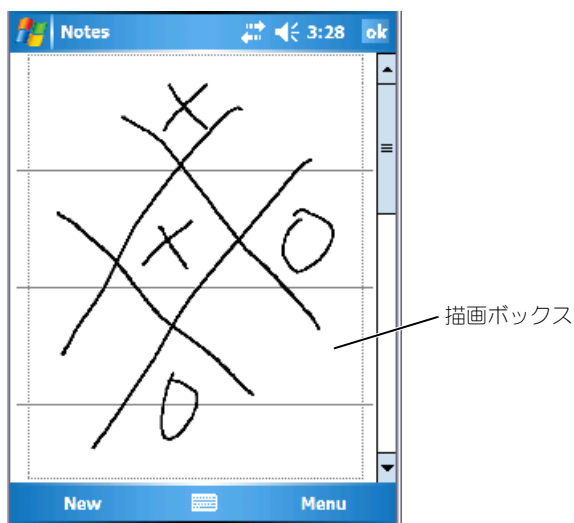
画面での描画

画面への書き込みと同じ方法で、画面上に絵を描くことができます。ただし、絵の選択および編集方法は、手書き文字の場合と異なります。たとえば、絵を選択して大きさを変えることはできますが、手書き入力文字ではできません。

絵の作成

 **メモ**：絵を縮小または拡大するには、**メニュー** → **Zoom**（ズーム）をタップし、ズームレベルをタップします。

まず 3 本の罫線に線を入れます。描画ボックスが表示されます。次に描かれた、描画ボックスに接するまたは描画ボックス内の線は絵の一部になります。描かれた線が 3 本の罫線に渡らない場合、絵は手書き入力文字として扱われます。



絵の編集

絵を編集、またはフォーマットするには、まず絵を選んでから、次の手順を実行します。

- 1 選択ハンドルが表示されるまで、絵の上でスタイラスをタップ&ホールドします。
複数の絵を選択するには、それらの絵をドラッグして選択します。
- 2 選択した絵をタップ&ホールドして、ポップアップメニューで編集コマンドをタップすると、選択した絵の切り取り、コピー、および貼り付けができます。
画面下部の **メニュー** → **編集** をタップして編集コマンドを選択することもできます。

絵のサイズを変更するには、選択ハンドルをドラッグします。

メッセージの録音

画面に手書きで文字入力ができたり、絵が描けるプログラムでは、メッセージを録音して考えをすばやくまとめたり、メモや電話番号を記録することもできます。

- **予定表、仕事、および連絡先** で、**メモ** タブに録音を加えることができます。
- **メモ** プログラムでは、音声のみを録音したり、手書きメモに録音を加えることができます。メモに録音を加える場合、まずメモを開きます。
- **受信** プログラムでは、E-メールメッセージに録音を付加できます。

メッセージを録音するには、次の手順を実行します。

- 1 マイクを口または音源に近づけて持ちます。
- 2 ビープ音が聞こえるまで、デバイスの側面にある **録音** ボタンを押します。
- 3 **録音** ボタンを押し続けて、録音します。
- 4 録音を停止するには、**録音** ボタンを離します。

デバイスからビープ音が 2 回聞こえます。新規録音メモ一覧に、または組み込みアイコンとして表示されます。

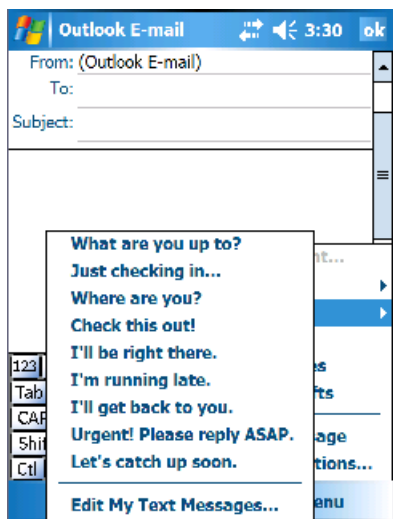



メモ : Recording (録音) ツールバーにある **Record** (録音) アイコンをタップして録音することもできます。

録音を再生するには、一覧で録音名をタップするか、メモ内のスピーカーアイコンをタップします。

マイテキストの使い方

受信プログラムまたは MSN Messenger では、マイテキストを使って、定型文、または頻繁に使用する文を簡単に挿入できます。メッセージを挿入するには、**メニュー** → **マイテキスト** をタップし、メッセージをタップします。




 **メモ**：定型文を挿入した後で、**マイテキスト** メッセージに文字を追加できます。

マイテキスト メッセージを編集するには、次の手順を実行します。

- 1 **メニュー** → **マイテキスト** → **Edit My Text Messages**（マイテキストメッセージを編集する）をタップします。
- 2 変更を加えて、**OK** をタップします。

設定の調整

デバイスの設定は、お好みに合わせて調整することができます。利用可能なオプションを表示するには、**スタート** → **設定** をタップします。

 **メモ**：お使いのデバイスの機能によっては、別のタブが表示されたり、タブに別の項目が表示されることがあります。

設定の調整方法に関しては、お使いのデバイスのヘルプを参照してください（**スタート** → **ヘルプ** をタップ）。

個人用タブ

- **ボタン** — デバイスボタンを押すと起動されるプログラムを設定します。
- **入力** — 入力方法、単語予測、その他のオプション設定を調整します。
- **メニュー** — **スタート** メニューに項目を追加したり削除します。
- **オーナー情報** — お客様の連絡先等を入力します。
- **パスワード** — お使いのデバイスに保存されているデータを保護するため、パスワードを設定します。
- **音と通知** — 音量の調節および通知を設定します。詳細に関しては、64 ページの「通知」を参照してください。
- **Today** — 画面に表示される情報の内容と外観をカスタマイズします。
- **MSN Options** — MSN オプションの設定を使って、Pocket MSN の操作をカスタマイズできます。

システムタブ

- **バージョン情報** — Windows Mobile 5.0 およびお使いのデバイスについての情報を表示します。
- **輝度** — 輝度を調整して、節電します。
- **証明書** — お使いのデバイスに保存されている認証を表示したり、削除します。証明書を使うと、ユーザーと他のコンピュータを識別して、データへの不正なアクセスを防ぐことができます。
- **時計** — 時刻の変更またはアラームの設定を行います。
- **メモリ** — メモリをデータおよびプログラムのストレージに割り当てます。メモリの空き領域と使用済みの領域、ストレージカードメモリ、および実行中のプログラムを表示します。
- **エラーレポート** — Windows Mobile ソフトウェアが動作しているデバイスのプログラムエラーを診断するために、テクニカルサポートグループが必要とする情報を送信します。この機能を使用するには、お使いのデバイスがインターネットに接続されている必要があります。
- **GPS** — GPS デバイスを接続している場合に、地図を使って自分の位置を正確に知るための設定を行います。お使いの Axim には、GPS デバイスは搭載されていません。
- **ミラーモード** — X51v モデルでのみ使用できます。VGA ケーブルを使って、ユーザーが PDA 画面と外付け画面の両方で画像を表示できるようにします。ミラーモードが有効になると、コマンドバーにアイコンが表示されます。ミラーモードを無効にするには、アイコンをクリックするか、チェックボックスのチェックを外します。
- **マイク** — マイクの音量を調節します。

- **電源** — バッテリーまたは充電状況を確認します。**詳細設定** タブを使って、電源が切れるまでにデバイスがアイドル状態にある時間を設定します。電源ボタンを使って電源を完全に切るよう設定するには、電源ボタンタブを使用します。これにより、バッテリーの消耗を軽減できます。
- **地域設定** — 通貨や日時などの地域設定の表示と設定の変更を行います。
- **プログラムの削除** — デバイスからプログラムを削除します。詳細に関しては、81 ページの「プログラムの追加と削除」を参照してください。
- **画面** — デバイスがタップに正確に反応しない場合に画面を調節したり、使用する画面方向を選択します。
- **切り替えバー** — 切り替えバープログラム起動ユーティリティの設定を調整します。
- **システム情報** — お使いのデバイスの技術情報を表示します。

接続タブ

- **ビーム** — 他のデバイスからの赤外線通信を受信します。
- **Bluetooth** — Bluetooth® ワイヤレステクノロジーを採用した無線通信のオンとオフを切り替え、結合されたデバイスの作成と編集を行います。デフォルトで、無線はオフになっています。
- **接続** — モデムおよびサーバー接続の追加または設定を行います。
- **Dell WLAN ユーティリティ** — 内蔵 Wi-Fi を搭載したデバイスでのみ使用できます。WLAN ユーティリティを使って、EAP/TLS を使用しているワイヤレスネットワークに接続します。
- **ネットワークアダプタ** — ネットワークアダプタを設定します。
- **Odyssey Client** — ワイヤレス LAN の認証および接続をセキュリティで保護します。この機能は、Axim の標準およびハイエンドバージョンでのみ使用できます。

通信とスケジュールの作成

Microsoft[®] ActiveSync[®] プログラムについて

Microsoft ActiveSync 4.1 は、Axim 向け同期ソフトウェアの最新バージョンです。ActiveSync を使用して、お使いのデバイスとコンピュータ間でファイルやデータを転送できます。また、ドライバやプログラムをデバイスにアップロードすることもできます。ActiveSync は、デバイスをコンピュータに接続する前にインストールする必要があります。ActiveSync インストールプログラムは、『Dell Getting Started CD』に収録されています。

ActiveSync を使って、コンピュータ上のデータとデバイス上のデータを同期化できます。同期化を実行すると、デバイス上のデータとコンピュータ上のデータが比較され、両方が最新のデータになるようアップデートされます。次はその例です。

- お使いのデバイス上の Microsoft Pocket Outlook のデータを、お使いのコンピュータ上の Microsoft Outlook のデータと同期化して、最新に保ちます。
- お使いのデバイスとコンピュータ間で、Microsoft Word および Microsoft Excel ファイルを同期化します。ファイルは、自動的に正しい形式に変換されます。





メモ: デフォルトで、ActiveSync はすべてのタイプのデータを自動的に同期化しません。ActiveSync のオプションを変更すると、特定のタイプのデータを同期化することができます。

ActiveSync を使って、以下のことを実行することもできます。

- お使いのデバイスとコンピュータ間のファイルのコピー（同期化ではなく）。
- 同期化を実行するタイミングの制御。たとえば、継続的に同期化するか、同期化コマンドを選んだときのみ同期化するかを選ぶことができます。
- 同期化する情報のタイプの選択と、同期化する情報量の制御。たとえば、過去の予定を何週間分同期化するかを選ぶことができます。

データを同期化するには、Microsoft Windows[®] バージョンと Pocket PC バージョンの両方の ActiveSync が必要です。『Dell™ Getting Started CD』を使用して、お使いのコンピュータに ActiveSync の Windows バージョンをインストールする必要があります。Pocket PC バージョンは、お使いのデバイスにインストールされています。

 **メモ**：お使いのデバイスをコンピュータに初めて接続するときは、『Dell™ Getting Started CD』を使ってコンピュータに ActiveSync がインストールされていることを確認します。

 **メモ**：Axim が同期しない場合は、お使いのコンピュータセキュリティソフトウェアを調べ、ファイアウォールが動作していないかどうかを確認します。ファイアウォールによって、お使いのコンピュータから Axim への通信が遮断される場合があります。

ActiveSync のインストールと使い方

ActiveSync をインストールするには、次の手順を実行します。


- 1 『Dell Getting Started CD』を挿入します。
- 2 **はじめに** をクリックして、メインメニューにアクセスします。
- 3 **ここから開始** をクリックします。
- 4 **ActiveSync をインストールする** をクリックして、画面の指示に従います。

インストールが完了したら、デバイスをコンピュータに接続します。

ActiveSync セットアップ ウィザードで、以下のことを実行できます。

- お使いのデバイスとコンピュータ間でデータが同期するよう、パートナーシップを設定する。
- 同期化の設定をカスタマイズする。

ウィザードの完了後、最初の同期化処理が自動的に開始します。

 **メモ**：同期化処理を実行するには、デバイスの電源がオンになっている必要があります。

最初の同期化中に、コンピュータの Outlook に保存されている情報がデバイスの予定表、連絡先、および仕事にコピーされます。

ActiveSync のセットアップが終わり、最初の同期化処理が完了したら、デバイスから同期化を開始することができます。デバイスの ActiveSync に切り替えるには、**スタート** → **ActiveSync** をタップします。

お使いのデバイスの ActiveSync の使い方を参照するには、デバイスの ActiveSync を開き、**スタート** → **ヘルプ** をタップします。

お使いのコンピュータの ActiveSync の使い方を参照するには、コンピュータの ActiveSync を開いて、**ヘルプ** → **Microsoft ActiveSync ヘルプ** をクリックします。

 **メモ**：ActiveSync ヘルプの詳細に関しては、<http://www.microsoft.com/japan/windowsmobile/help/activesync/default.msp> を参照してください。

Microsoft® Pocket Outlook について

Pocket Outlook には、予定表、連絡先、仕事、受信、メモが含まれています。これらのプログラムは個別に、または一緒に使用することができます。たとえば、連絡先に保存されている E-メールアドレスは、受信内の E-メールメッセージのアドレスに利用できます。



メモ: Pocket Outlook は、お使いのデバイスにインストールされています。Pocket Outlook がインストールされていない場合は、『Dell Getting Started CD』に Pocket Outlook インストールプログラムのコピーが収録されています。Outlook Express ではなく、Pocket Outlook をインストールしてください。Pocket Outlook は、1 度だけインストール可能なライセンスバージョンです。

Microsoft ActiveSync® を使うと、お使いのコンピュータの Microsoft Outlook または Microsoft Exchange の情報を同期化できます。この情報は、Exchange サーバーと直接同期化することもできます。同期化を実行するたびに、ActiveSync はデバイスとコンピュータまたはサーバー上で行われた変更を比較し、その両方を最新のデータにアップデートします。ActiveSync の使い方に関しては、お使いのコンピュータの **ActiveSync ヘルプ** を参照してください。

スタート メニューから、以下のプログラムに切り替えることができます。



メモ: 予定表、連絡先、仕事、受信、メモ、その他の詳細に関しては、お使いのデバイスのヘルプを参照してください。

分類項目

分類項目を使用して、関連する連絡先、仕事、および予定をグループ化します。たとえば、業務関連の連絡先をビジネスカテゴリに分類し、個人的な連絡先を個人用カテゴリに分類すると、連絡先の情報を見つけやすくなります。家族など独自のカテゴリを作成し、親類の連絡先情報をグループ化することもできます。

分類項目の作成

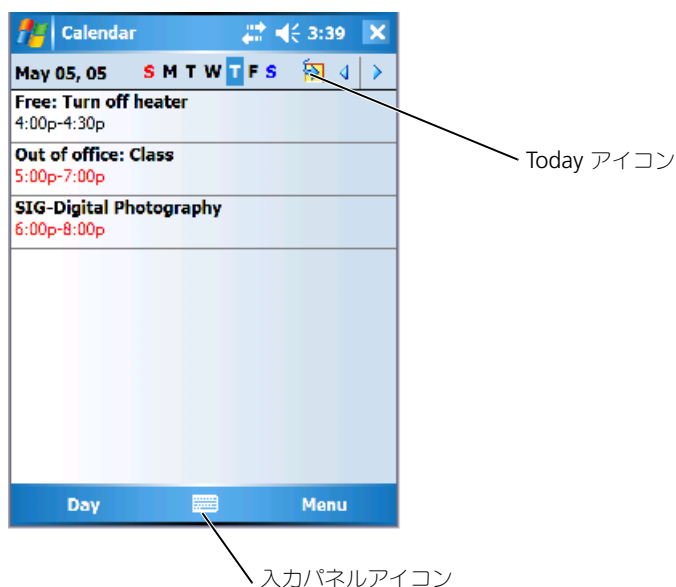
分類項目を作成するには、次の手順を実行します。


- 1 プログラムから、既存の項目をタップするか、新しい項目を作成します。
- 2 **予定表、連絡先、および 仕事** の新規項目については、**分類項目** をタップします。
- 3 **新規** をタップしてカテゴリ名を入力し、**Done** (完了) をタップします。新しいカテゴリが、項目に自動的に割り当てられます。
- 4 **予定表** および **仕事** の既存項目については、**編集** → **分類項目** をタップします。

- 5 **連絡先** の既存項目については、**メニュー** → **編集** → **分類項目** をタップします。
- 6 **OK** をタップし、予定、連絡先、または仕事に戻ります。

予定表

予定表を使って、会議や他のイベントなどの予定を作成します。予定表、日単位、週単位、月単位、年単位などの表示画面のうちの1つで予定を確認でき、表示メニューを使って表示画面を簡単に切り替えることができます。**Today** アイコンをタップすると、今日の日付が表示されます。



 **メモ**：週の最初の曜日を変更するなど、予定表をカスタマイズするには、**メニュー** をタップして、**オプション** をタップします。

予定を作成するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** → **予定表** をタップします。
- 2 **メニュー** → **New Appointment**（新規予定）をタップします。
- 3 予定の名前を入力し、開始時刻や終了時刻などの情報を入力します。
- 4 全日のイベントをスケジュールするには、**All Day**（全日）ボックスで**はい**をタップします。
- 5 情報の入力終了したら、**OK** をタップして予定表に戻ります。

予定に関する確認の通知を受け取るようにするには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** → **予定表** → **メニュー** → **オプション** → **予定** タブをタップします。
- 2 **Set reminders for new items**（新規項目の確認の通知を設定する）チェックボックスを選択します。
- 3 確認の通知による警告を受け取る時間を設定します。
- 4 **OK** をタップして予定表に戻ります。

概要画面の使い方

予定表で予定をタップすると、概要画面が表示されます。予定を変更するには、**編集** をタップします。

会議のリクエストの作成

予定表を使って、**Outlook** または **Pocket Outlook** のユーザーとの会議を設定することができます。会議リクエストは、受信を同期化したり、メールサーバーに接続すると自動的に作成されます。会議リクエストの送信方法を設定するには、**メニュー** をタップして、**オプション** をタップします。

会議をスケジュールするには、次の手順を実行します。

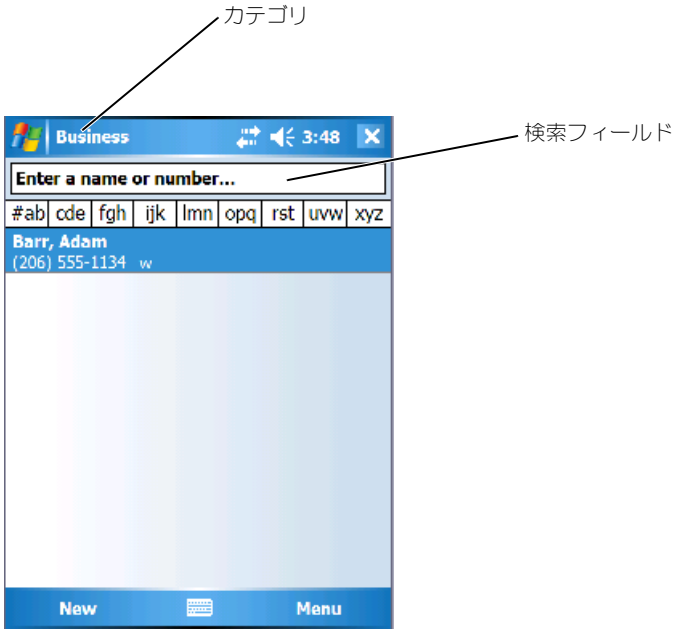
- 1 **スタート** → **予定表** をタップします。
- 2 新しい予定をスケジュールするか、既存の予定を開いて **編集** をタップします。
- 3 **出席者** をタップします。
- 4 招待相手の連絡先名をタップします。
- 5 招待する出席者を追加するには、**追加** をタップし、名前をタップします。
- 6 **OK** をタップします。


会議リクエストは、次回にお使いのデバイスと **PC** を同期化するときに出席者に送信されます。

会議リクエストの送受信に関しては、**スタート** → **ヘルプ** → をタップして、**予定表** または **受信** をタップします。

連絡先

連絡先を使って、友人や同僚の一覧を管理します。赤外線ポートを使って、他のデバイスのユーザーと連絡先情報を簡単に共有できます。



 **メモ**：データの一覧の表示方法を変更するには、**メニュー** → **オプション** をタップします。

連絡先を作成するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** → **連絡先** → **新規** をタップします。
- 2 入力パネルを使って、名前および他の連絡先情報を入力します。下にスクロールして、利用可能なフィールドをすべて表示します。
- 3 連絡先をカテゴリに割り当てるには、**分類項目** をタップして、一覧からカテゴリを選びます。
連絡先一覧で、カテゴリ別に連絡先を表示できます。
- 4 メモを追加するには、**メモ** タブをタップします。文字や絵を入力したり、録音することができます。メモ作成の詳細に関しては、59 ページの「メモ」を参照してください。
- 5 情報の入力が終了したら、**OK** をタップして予定表に戻ります。

連絡先の検索


連絡先を検索するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** → **連絡先** をタップします。
- 2 名前ビューが表示されていない場合は、**メニュー** → **View By** (表示) → **名前** をタップします。
- 3 次のうちのいずれか 1 つを実行します。
 - 表示されたテキストボックスで、名前または電話番号の入力を開始し、目的の連絡先が表示されるまで続けます。すべての連絡先をもう一度表示するには、テキストボックスをタップしてテキストを消去するか、ボックスの右側にある矢印をタップします。
 - 連絡先一覧の上部に表示されたアルファベット順の索引を使用します。
 - 一覧をカテゴリ別に分けます。連絡先一覧で、**メニュー** → **Filter** (フィルタ) をタップします。連絡先に割り当てたカテゴリをタップします。すべての連絡先を再度表示するには、**すべての連絡先** をタップします。
- 4 連絡先に登録されている人の勤務先を表示するには、連絡先一覧で **表示** をタップして、**会社順** をタップします。その会社に勤めている連絡先の数に会社名の右側に表示されます。

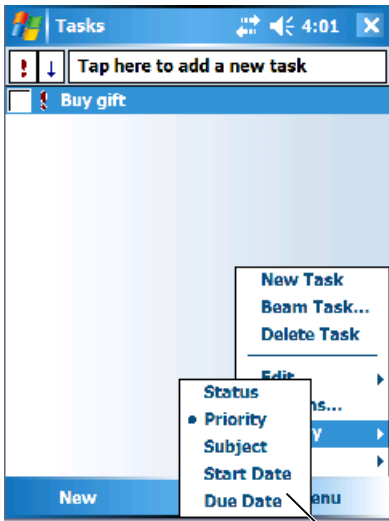
概要画面の使い方

連絡先一覧の連絡先をタップすると、概要画面が表示されます。連絡先情報を変更するには、**編集** をタップします。

仕事

 **メモ**：データの一覧の表示方法を変更するには、**メニュー** → **オプション** をタップします。

仕事を使って、仕事の一覧を作成できます。



並べ替えメニュー

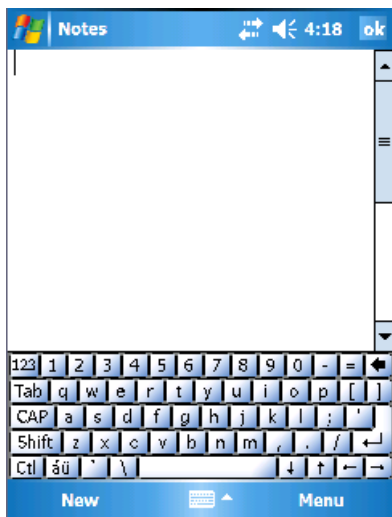
仕事を作成するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** → **プログラム** → **仕事** をタップします。
- 2 **新規** をタップして、仕事の課題を入力し、開始日や終了日などの情報を入力します。
- 3 情報の入力完了したら、**OK** をタップします。
- 4 仕事一覧から既存の仕事のコピーするには、対象となる仕事を選択します。**メニュー** → **編集** → **コピー** をタップし、**メニュー** → **編集** → **貼り付け** をタップします。
- 5 メモを追加するには、**メモ** タブをタップします。文字や絵を入力したり、録音することができます。詳細に関しては、59 ページの「メモ」を参照してください。

 **メモ**：課題が 1 つしかない仕事を簡単に作成するには、**メニュー** → **ツール** → **オプション** → **Show Taskentry bar** (仕事を表示のエントリーバー) をタップします。**ここをタップして新しい仕事を追加** をタップして、仕事情報を入力します。

メモ

メモを利用して、考えをすばやくまとめたり、確認の通知、絵、および電話番号を記録することができます。手書きのメモを作成したり、録音することができます。メモに録音を加えることもできます。録音する際にメモが開いている場合、録音はアイコンとしてメモに加えられます。メモが開いていない場合、独立した録音として保存されます。



メモを作成するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** → **プログラム** → **メモ** → **新規** をタップします。
- 2 手書き入力、描画、タイプ、録音などでメモを作成します。入力パネルの使い方、画面での手書き入力や描画、および録音に関しては、38ページの「情報の入力」を参照してください。

受信

受信を使って、E-メールメッセージを送受信します。

- お使いのコンピュータの **Exchange** または **Outlook** を使って、E-メールメッセージを同期化します。
- **ISP** またはネットワーク経由でメールサーバーと直接接続して、E-メールメッセージを送受信します。



メモ: お使いのデバイスの E-メールアカウント作成については、インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。デルでは、E-メールアカウントのサービスは提供していません。

E-メールメッセージの同期化

ActiveSync で受信の同期化を有効にした場合、他のデータと一緒に E-メールメッセージを同期化できます。受信同期化を有効にする方法に関しては、コンピュータの **ActiveSync ヘルプ** を参照してください。



メモ: リモートでお使いのコンピュータと E-メールメッセージを同期化することも可能です。詳細に関しては、67 ページの「接続」を参照してください。

同期化の処理中は、以下のことが実行されます。

- お使いのコンピュータの **Exchange** または **Outlook** の E-メールフォルダから、デバイスの受信にある **ActiveSync** フォルダにメッセージがコピーされます。デフォルトで、以下のものが受信されます。
 - 3 日前からのメッセージ
 - 各メッセージの最初の 100 行
 - 100 KB 未満の添付ファイル
- デバイスの **送信トレイ** フォルダ内の E-メールメッセージは、コンピュータの **Exchange** または **Outlook** に転送されてから、これらのプログラムから送信されます。
- お使いのコンピュータのサブフォルダ内の E-メールメッセージを転送するには、**ActiveSync** 内でメッセージを選択する必要があります。

メールサーバーとの直接接続

お使いのコンピュータとの E-メールメッセージの同期化に加え、デバイスに接続されているモデムやネットワークカードを使って、メールサーバーに接続して E-メールメッセージを送受信できます。ネットワークまたは **ISP** へのリモート接続およびメールサーバーへの接続をセットアップする必要があります。詳細に関しては、67 ページの「接続」を参照してください。

メールサーバーに接続すると、以下のことが実行されます。

- 新着メッセージは、デバイスの **受信トレイ** フォルダにダウンロードされます。
- デバイスの **送信トレイ** フォルダ内のメッセージが送信されます。
- メールサーバーから削除されたメッセージは、デバイスの **受信トレイ** フォルダから削除されます。

メールサーバーから直接受信したメッセージは、コンピュータではなくメールサーバーにリンクされます。**ActiveSync** の設定によっては、デバイスからメッセージを削除すると、次回メールサーバーに接続する際にメールサーバーからも削除されます。

オンラインで作業をする際、メールサーバーに接続した状態で E-メールメッセージを読んだり返信します。**送信** をタップするとただちにメッセージが送信されますので、デバイスの容量が節約されます。

新着メッセージのヘッダーやメッセージの一部をダウンロードした後、メールサーバーの接続を解除してから、どのメッセージを完全にダウンロードするか決めることができます。次回接続する際に、受信はマークのついたメッセージをダウンロードし、作成したメッセージを送信します。

メッセージ一覧の使い方

受信したメッセージがメッセージ一覧に表示されます。デフォルトで、受信したメッセージが新しいものから順に一覧に表示されます。

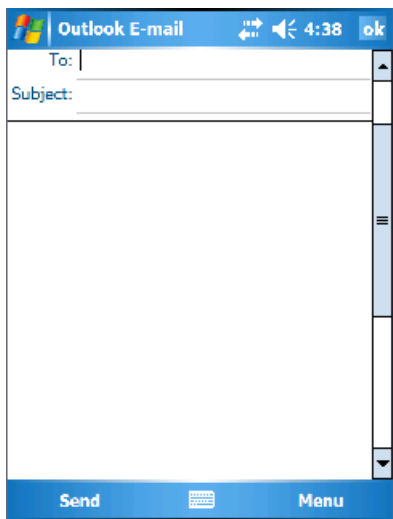
メッセージを受信したら、タップして開きます。未読メッセージは、太字で表示されます。

元のメッセージは、メールサーバーやお使いのコンピュータに残ります。次の同期化中またはメールサーバーとの接続中に、メッセージ全体を受信したいメッセージにマークを付けることができます。メッセージ一覧で、受信したいメッセージをタップ&ホールドします。ポップアップメニューで、**ダウンロードするアイテムとしてマーク** をタップします。受信トレイメッセージ一覧のアイコンがメッセージステータスを示します。

サービスをセットアップする際、または同期化のオプションを設定する際に、ダウンロードのオプションを設定します。設定はいつでも変更できます。

- **ActiveSync** オプションを使用して、受信同期化のオプションを変更します。詳細に関しては、お使いのコンピュータの **ActiveSync ヘルプ** を参照してください。
- デバイスの受信で、メールサーバーに直接接続するオプションを変更します。**メニュー** → **オプション** をタップします。**アカウント** タブで、変更するサービスをタップします。サービスをタップ&ホールドして **削除** を選択し、サービスを削除します。

メッセージの作成



メッセージを作成および送信するには、次の手順を実行します。

- 1 メッセージ一覧で、**メニュー** → **Switch Accounts**（アカウントの切り替え）をタップし、アカウントを選択します。
- 2 **新規** をタップします。
- 3 1 つまたは複数の E-メールアドレスを入力します。宛先はセミコロンで区切ります。連絡先からアドレスにアクセスするには、**To**（宛先）をタップします。
- 4 メッセージを入力します。一般的なメッセージを簡単に追加するには、**メニュー** → **マイテキスト** をタップし、使用するメッセージをタップします。
- 5 スペルをチェックするには、**メニュー** → **Spell Check**（スペルチェック）をタップします。
- 6 **送信** をタップします。

オフラインで作業している場合、メッセージは **送信トレイ** フォルダに移動され、次回ネットワークに接続する際に送信されます。

E- メールメッセージおよびフォルダの管理

デフォルトでは、メッセージは、作成した各サービスの 5 つのフォルダ、**受信トレイ**、**削除済みアイテム**、**下書き**、**送信トレイ**、または **送信済みアイテム** のいずれかに表示されます。**削除済みアイテム** フォルダには、デバイスで削除されたメッセージが含まれます。**削除済みアイテム** および **送信済みアイテム** フォルダの動作は、選択したオプションによって異なります。オプションを変更するには、メッセージ一覧で **メニュー** → **ツール** をタップし、**オプション** をタップします。**メッセージ** タブでオプションを選びます。

フォルダの作成、フォルダ名の変更、またはフォルダの削除を行うには、**メニュー** → **ツール** → **フォルダの管理** をタップします。メッセージを別のフォルダに移動するには、メッセージ一覧のメッセージをタップ&ホールドして、ポップアップメニューの **移動** をタップします。

メールサーバー直接接続時のフォルダの動作

作成したフォルダの動作は、ActiveSync、POP3、または IMAP4 のどれを使用しているかによって異なります。

- **ActiveSync** をお使いの場合、Outlook の **受信トレイ** フォルダ内の E-メールメッセージは、お使いのデバイスと自動的に同期化されます。フォルダを指定して、ActiveSync 用に別のフォルダを同期化することもできます。作成したフォルダおよび移動したメッセージは、サーバー上でミラーされます。たとえば、**受信トレイ** フォルダから **家族** という名前のフォルダにメッセージを移動し、**家族** を同期化するよう設定した場合、サーバーは **家族** フォルダのコピーを作成して、そのフォルダにメッセージをコピーします。これにより、お使いのコンピュータからではなくてもメッセージを読むことができます。
- **POP3** をお使いで、作成したフォルダに E-メールメッセージを移動した場合、デバイス上のメッセージとメールサーバー上のメッセージのコピー間のリンクが壊れます。次回接続時に、メールサーバーはデバイスの受信トレイにメッセージがないことを検出して、サーバーから削除します。これにより、メッセージの重複を防ぎます。ただし、これらのフォルダのコンテンツには、お使いのデバイスからのみアクセスできます。
- **IMAP4** をお使いの場合、作成したフォルダと移動したメッセージは、サーバー上でミラーされます。これにより、お使いのデバイスまたはコンピュータからメールサーバーに接続すると、いつでもメッセージを読むことができます。サーバーへの接続、フォルダの新規作成、名前の変更、または接続時にフォルダを削除すると、この同期化が必ず実行されます。

通知

何か必要なときに通知されるように、デバイスを設定できます。たとえば、予定表に予定を設定したり、仕事に締切日のある仕事を設定したり、時計でアラームを設定した場合、次の方法のうちの1つで通知を受け取ります。

- 画面にメッセージボックスが表示されます。
- 音が鳴ります（音は指定できます）。
- デバイスのライトが点滅します。

確認の通知およびデバイスのサウンドを設定するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** → **設定** をタップします。
- 2 **個人用** タブで、**音と通知** をタップします。
 - **音量** タブ — 音量を調節して、サウンドを有効にします。
 - **通知** タブ — 特定のイベントに対して通知を設定します。

アイテムのビーム送信

予定表、連絡先、メモ、仕事、Excel Mobile、Word Mobile、PowerPoint Mobile、および **Pictures**（画像）プログラムでは、Bluetooth または赤外線を使ってファイルやデータを他のデバイスにビーム送信できます。

- 1 プログラムから、**予定表** の予定、**仕事** 中の仕事、**連絡先** の連絡先カード、**File Manager** のファイルなど、ビーム送信するアイテムを選択します。
- 2 **メニュー** → **ビーム** [type of item（アイテムの種類）] をタップします。
- 3 次のうちのいずれか1つを実行します。
 - Bluetooth を使用している場合は、アイテムの送信先となるデバイスをタップします。
 - 赤外線を使用している場合は、目的のデバイス名が表示されるまで、赤外線（IR）ポートを近距離に調整し、アイテムの送信先となるデバイスをタップします。

File Explorer の使い方

File Explorer を使用して、お使いのデバイスのフォルダ内のコンテンツを参照できます。ルートフォルダをマイデバイスと呼びます。マイデバイスは、コンピュータのマイコンピュータと似ており、マイドキュメント、プログラムファイル、Temp、ストレージカード、Windows フォルダなどが収納されます。

アイテムを検索するには、次の手順を実行します。

- 1 **プログラム** → **File Explorer** をタップします。
マイドキュメント フォルダとサブフォルダ内が表示されます。
- 2 フォルダー一覧（デフォルトでは **マイドキュメント** になっています）をタップし、展開するフォルダをタップします。
- 3 アイテムを開くには、目的のアイテムをタップします。
- 4 アイテムの削除、名前の変更、またはコピーを簡単に実行するには、アイテムをタップ&ホールドします。
- 5 一覧で複数の項目を選択するには、タップしてドラッグします。その後、選択したアイテムをタップ&ホールドし、コマンドをタップします。


接続


お使いのデバイスを利用して、他のモバイルデバイス、コンピュータ、ネットワーク、またはインターネットと情報のやり取りをすることができます。以下の接続オプションが利用できます。

- デバイスの赤外線ポートを使って、2 台のデバイス間でファイルを送受信します。詳細に関しては、「赤外線の使用法」を参照してください。
- インターネットサービスプロバイダ (ISP) に接続します。接続すると、受信を使用して E-メールを送受信したり、Internet Explorer Mobile を使用してウェブまたは WAP ページを参照できます。ISP への接続を作成する通信ソフトは、お使いのデバイスにインストールされています。ポケットベルやファックスサービスなど、その他のサービスをインストールするソフトウェアは、ISP から提供されます。
- 勤務先の会社や団体のネットワークに接続します。接続すると、受信を使用した E-メールの送受信、Internet Explorer Mobile を使用したウェブまたは WAP ページの参照、あるいはコンピュータとの同期化を行うことができます。
- コンピュータと接続してリモートで同期化します。接続が確立したら、Pocket Outlook の情報などの同期化ができます。詳細に関しては、コンピュータの Microsoft ActiveSync[®] ヘルプ、またはデバイスの接続ヘルプを参照してください。

Wi-Fi (802.11b) の使い方

Wi-Fi を使用して、デバイスを WLAN (Wireless Local Area Network) に接続できます。Wi-Fi は wireless fidelity の略で、あらゆる種類の 802.11 ネットワーク (802.11b、802.11a、デュアルバンドなど) を指します。製造元の異なる Wi-Fi 認定製品で、互換性が保証されています。

 **メモ:** 標準およびハイエンド構成の Axim には、Wi-Fi 802.11b が内蔵されており、ドライバは工場出荷時にインストールされています。ベーシック構成のデバイスをお使いの場合は、802.11b SD カードを購入してデバイスに挿入し、ドライバをロードする必要があります。

 **メモ:** お使いのデバイスのワイヤレスネットワーククライアントユーティリティは、デフォルトで Dell ワイヤレス LAN ユーティリティになっています。以下の説明は、Dell ワイヤレス LAN ユーティリティ向けの設定手順を示しています。

次のうちいずれか 1 つの状況で、お使いのデバイスにワイヤレスネットワークを設定します。

- ネットワークカードがセットアップされている
- ワイヤレスネットワークで SSID をブロードキャストしている
- ワイヤレスネットワークで SSID をブロードキャストしていない

ネットワークカードがセットアップされている場合

通常、内蔵ワイヤレスカードはすでにセットアップされています。ただし、ネットワークカードを選択しなければならない場合があります。ビルトインワイヤレスを備えた Axim X51/X51v では、ネットワークカードは有効なワイヤレスに関連付けられています。ワイヤレスが無効になっている場合、または、ワイヤレス接続にソケットカードを使用している場合は、次の方法でネットワークカードを選択します。

- 1 **スタート** → **設定** → **接続** をタップします。
- 2 **ネットワークカード** をタップします。
- 3 メニューから **インターネット** または **既定の社内ネットワーク設定** を選択します。
- 4 ネットワークへの接続に使用するネットワークカードを選択します。ビルトインワイヤレスを備えた Axim X51/X51v の場合、**Dell Axim X51/X51v WLAN Wireless Adapter** を選択します。
- 5 ネットワークカードで IP アドレスを割り当てるか、IP アドレスを自動的に取得するかを選択します。
- 6 必要な場合はサーバーの IP アドレスを入力し、**OK** をタップします。

ワイヤレスネットワークで SSID をブロードキャストしている場合

- 1 ワイヤレスボタンを押して、ワイヤレス機能を有効にします。デバイスの右上隅にある緑色の LED は、ワイヤレスが有効であることを示しています。
- 2 **スタート** → **設定** → **接続** をタップします。
- 3 プロファイルを追加、編集、または削除するには、該当する処理を選択し、**ネットワークカード** をタップします。
- 4 **Configure Wireless Networks** (ワイヤレスネットワークの設定) ウィンドウで、利用可能なネットワーク名を 1 つ選択し、**OK** をタップします。

ワイヤレスネットワークで SSID をブロードキャストしていない場合

Configure Wireless Networks (ワイヤレスネットワークの設定) ウィンドウには、ネットワーク名 (SSID) をブロードキャストするワイヤレスネットワークと、追加されたワイヤレスネットワークのみが表示されます。ネットワークが一覧にない場合は、追加してください。以下の情報に関しては、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

- SSID (ネットワーク名)
- 認証
- データの暗号化
- キー (キーが自動的に入力されない場合)
- ログイン (必要な場合)

ワイヤレスネットワークを設定するには、次の手順を実行します。

- 1 **Configure Wireless Networks** (ワイヤレスネットワークの設定) ウィンドウで、**Add New** (新規追加) をタップします。
- 2 ネットワーク名 (SSID) を入力します。
- 3 **Connects To** (接続先) ボックスで、**インターネット** または **既定の社内ネットワーク設定** ボックスを選択します。
 - **インターネット** を選択すると、ネットワークへの接続はできますが、VPN を使用する場合は、接続を手動で開始する必要があります。
 - **既定の社内ネットワーク設定** を選択した場合は、ネットワークに接続すると VPN 接続が自動的に開始されます。
 - ネットワークへの接続に問題がある場合は、**Connects To** (接続先) ボックスを **インターネット** に変更してください。
- 4 **ネットワークキー** タブをタップします。
- 5 **認証** および **Data Encryption** (データの暗号化) の情報を入力します。キーが必要な場合は、ネットワークキーを入力します。
- 6 **802.1x** タブを選択します。
- 7 前の画面で選択した認証とデータの暗号化によって、この画面が表示されるかどうかが決まります。表示された場合、ネットワークで使用する **EAP type** (EAP タイプ) を選択します。
- 8 **OK** をタップします。
- 9 複数のネットワークが表示されている場合は、接続するネットワーク名の上でスタイラスをタップ&ホールドします。ポップアップメニューが表示されます。**Connect** (接続) をタップします。数秒後、選択したワイヤレスネットワークの横に **Connected** (接続) が表示されます。

Odyssey Client の使い方

Odyssey は、ワイヤレスリンクを強力なセキュリティで保護するセキュリティソリューションで、ワイヤレス LAN のアクセス制御に使用されます。認証されたユーザーだけに接続を許可し、ワイヤレス LAN (WLAN) の認証と接続を保護します。

Odyssey は、Dell WLAN ユーティリティ、Intel ProSET、Windows XP の Zero Config Service など、製造業者のワイヤレスネットワーククライアントで最もよく利用されています。

Odyssey を使用するには、次の手順を実行します。

- **スタート** → **設定** → **接続タブ** → **Odyssey Client** をタップします。メインページに以下の情報が表示されます。
 - Odyssey のステータス
 - ネットワーク名 (SSID)
 - アクセスポイント MAC
 - パケット情報
- Odyssey Client を有効にするには、**設定** → **Enable Odyssey** (Odyssey を有効にする) をタップします。
- ワイヤレスのプロファイルを設定するには、**設定** → **設定する** をタップします。既存のプロファイル一覧が表示され、プロファイルを追加、編集、または削除できます。

ネットワークの追加

ネットワークを追加するには、次の手順を実行します。


- 1 **設定** → **設定する** → **追加** をタップします。**Add Network Wizard** (ネットワークウィザードの追加) ウィンドウが表示されます。
- 2 ネットワーク名を入力するか、利用可能な任意のネットワークにクライアントを接続する場合は、**Any** (すべてのネットワーク) ボックスを選択します。
- 3 **スキャン** をタップし、利用可能なブロードキャストネットワークをすべて表示します。
必要に応じて説明を入力します。
- 4 アドホックネットワークまたはインフラストラクチャネットワークのいずれかを選択します。
- 5 **次へ** をタップします。


- 6 以下のセキュリティ設定を入力します。
 - **Association Mode** (アソシエーションモード) には、オープン、共有、または WPA アソシエーション方式があります。
 - **暗号方式** は、選択するモードによって異なります。オプションには、なし、WEP、TKIP があります。
 - 802.1x を使用する場合は、**Authenticate using 802.1X** (802.1X を使用して認証する) ボックスをチェックします。
 - WPA-PSK の場合は、**Passphrase** (パスフレーズ) (キー) を入力します。
- 7 選択した内容に応じて次のページが表示されます。WEP キーまたは、ユーザー名とパスワードの入力を求められる場合があります。
- 8 **次へ** をタップします。
- 9 ここで EAP (Extensible Authentication Protocol) 方式を選択できます。デフォルト設定には、EAP / TTLS のみが含まれています。
 - a 他の EAP 方式が必要な場合は、**追加** をタップします。
 - b 他の EAP 方式を追加したら、**OK** をタップします。
 - c **次へ** をタップします。
- 10 ログイン名を内密にしておくには、匿名を入力します。この名前は、外部から見ることでできる認証に使用されます。**次へ** をタップします。
- 11 選択した EAP 方式に応じて、内部の認証プロトコルを選択します。**次へ** をタップします。
- 12 ユーザー名とパスワードを入力し、**次へ** をタップします。
- 13 **終了** をタップします。
- 14 設定を完了すると、選択対象のネットワークに新しいプロファイルが追加されています。接続するプロファイルを選択するには、右上隅の **OK** をタップします。
- 15 **Today** ページに戻ると、システムトレイに **Odyssey** の新しいアイコンができています。

Cisco® LEAP Wireless LAN セキュリティの 使い方

Dell Axim X51/X51v は、Cisco LEAP を使用して、クライアントとサーバー間のログオンパスワードによる 802.1x ネットワーク認証をサポートしています。

Cisco LEAP は Odyssey Client アプリケーションを使用して設定することができます。

 **メモ**：設定を始める前に、ワイヤレスのオン/オフボタンを使って、ワイヤレスが有効になっていることを確認してください。

 **メモ**：LEAP はピアツーピアネットワークではサポートされていません。LEAP はベーシック構成の Axim X51 ではサポートされていません。

Odyssey Client を起動するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** → **設定** → **接続** → **Odyssey Client** アイコンの順にタップします。
- 2 **設定** → **Enable Odyssey** (Odyssey を有効にする) をタップします。

LEAP を起動するには、次の手順を実行します。

- 1 ネットワーク管理者から以下の情報を取得します。
 - ネットワーク名
 - アソシエーションモード
 - 暗号方式
- 2 **Odyssey Client** ウィンドウで、**設定** → **設定する** → **追加** をタップします。
- 3 ネットワーク名 (SSID) がわかっている場合はそれを入力するか、または **スキャン** をタップして利用可能なアクセスポイントを検索します。**次へ** をタップします。
- 4 LEAP はインフラストラクチャネットワークだけをサポートするので、ドロップダウンメニューにあるデフォルト設定を変更しないでください。**次へ** をタップします。
- 5 **Association Mode and Encryption** (アソシエーションモードと暗号) 方式を入力します。**次へ** をタップします。
- 6 **EAP/TTLS** は、デフォルトの EAP タイプです。**追加** をタップして、開いたウィンドウにある **EAP/LEAP** を選択します。

TTLS を使用するための認証をお持ちで、お使いのシステムがそれをサポートするように設定されている場合以外は、**EAP/TTLS** を削除します。

 **メモ**：設定が正しくされておらず EAP/TTLS を削除できない場合は、お使いのワイヤレスセキュリティシステムの動きを妨げる可能性があります。

- 7 **次へ** をタップします。

- 8 ユーザー名とパスワードを入力します。**次へ** をタップします。
- 9 **終了** をタップして LEAP の設定を完了します。
- 10 **OK** をタップします。
- 11 ドロップダウンメニューから追加したネットワークを選択し、**Connect to** (接続先) の横のボックスをタップします。このプロセスが完了すると、接続済み (認証済み) のステータスが表示されます。



メモ : さらに詳しい情報については、お使いのデバイスに付属の Odyssey Client ヘルプファイルを参照してください。**スタート** → **ヘルプ** → **Odyssey Client for Pocket PC** (Pocket PC 用 Odyssey Client) をタップするか、または、**Odyssey Client** のメインスクリーンで **ヘルプ** をタップして、ヘルプファイルにアクセスできます。

Odyssey Client を使った証明書の取得方法

Odyssey クライアントを使用して証明書を取得するには、次の 2 通りの方法があります。

- Certificate Enroller
- Import User Certificate

Microsoft 証明書サービスを利用してユーザー証明書をインストールするには、Certificate Enroller を使用します、デバイスに保存された .pfx 証明書ファイルをインストールするには、Import User Certificate を使用します。どちらの証明書タイプを使用するかは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Certificate Enroller を使用するには、次の手順を実行します。

- 1 Odyssey クライアントを使って、証明書サーバーが配置されている 802.1x 以外の有効なワイヤレスネットワークに接続します。
- 2 **スタート** → **設定** → **接続** → **Odyssey Client** をタップします。
- 3 **ツール** → **Certificate Enroller** をタップします。
- 4 **サーバー** フィールドに証明書サーバーの IP アドレスを入力します。
- 5 以下の規則に従い、**User name** (ユーザー名) フィールドに、ユーザー名とドメイン名を入力します。
ドメイン名 \ ユーザー名
- 6 **Request** (リクエスト) をタップします。

Import User Certificate を使用するには、次の手順を実行します。



メモ : 証明書をインストールする前に、RSA タイプのプライベートキーのパスワードを知っておく必要があります。

- 1 **スタート** → **設定** → **接続** → **Odyssey Client** をタップします。
- 2 **ツール** → **Import User Certificate** をタップします。

- 3 **参照** をタップし、デバイスに保存した **.pfx** ファイルに移動します。
.pfx ファイルを選択し、**OK** をタップします。
- 4 **Private key password** (プライベートキーパスワード) に、この証明書書の **RSA** タイプのプライベートキーパスワードを入力します。
Unmask (マスクの解除) をクリックすると、入力中のパスワードを表示できます。
- 5 入力が完了したら、**Install Certificate** (証明書のインストール) をタップします。

赤外線の使用方

赤外線は、2 つのデバイス間で連絡先や予定などの情報をリモートで送受信する際に使用します。

データを送信するには、次の手順を実行します。

- 1 送信するアイテムを作成したプログラムに切り替え、一覧でアイテムを見つけます。
- 2 近い範囲内で障害物を避け、2 台の赤外線センサーの向きを揃えます。
- 3 アイテムをタップ&ホールドして、ポップアップメニューの **ビーム** **XXXX** (XXXX をビーム) をタップします。ここで、**XXXX** は送信するアイテムです。

File Explorer からアイテム (フォルダを除く) を送信することもできます。送信するアイテムをタップ&ホールドして、ポップアップメニューの **ファイルをビームする** をタップします。

Bluetooth® ワイヤレステクノロジーの使用方

Bluetooth は、デバイスとインターネット間の通信を簡素化することを目的としたワイヤレステクノロジーです。データおよび音声の近距離通信において仕様に制限がありません。たとえば、ハンドヘルドデバイスと他のコンピュータ間でデータを同期化することができます。

サポートされる Bluetooth プロファイル：

- Generic Access
- Service Discovery Application
- Serial Port
- Generic Object Exchange Dial-up Networking
- Object PUSH
- HID

Pocket PC 環境で Bluetooth ワイヤレステクノロジーを搭載したデバイスを設定するには、次の手順を実行します。

- 1 2 台のデバイスの電源がオンになっており、認識できる状態で近距離にあることを確認します。
 - 2 **スタート** → **設定** → **接続タブ** をタップします。
 - 3 **Bluetooth** → **デバイスタブ** → **New Partnership** (新規パートナーシップ) をタップします。お使いのデバイスが他の Bluetooth デバイスを探し、一覧に表示します。
 - 4 もう一台のデバイスの名前をタップし、**次へ** をタップします。
 - 5 パスキー (セキュリティの強化にお勧めします) を使用する場合は、**Passkey** (パスキー) フィールドに 1 ~ 16 文字の英数字からなるパスキーを入力し、**次へ** をタップします。パスキーを使用しない場合は、**Passkey** (パスキー) フィールドは空のまま **次へ** をタップします。
-  **メモ:** 通常、リモート Bluetooth デバイスのパスキーは、そのデバイスのユーザーマニュアルに記載されています。Dell Axim のデフォルトのパスキーは、1234 です。
- 6 もう一台のデバイスに同じパスキーを入力します。
 - 7 **終了** をタップします。

Bluetooth ワイヤレステクノロジーのアクティブな接続が確立され、2 台のデバイスの対応付けが完了します。

 **メモ:** Bluetooth ワイヤレステクノロジーの詳しい使い方に関しては、**スタート** → **ヘルプ** → **Setting Up Connections** (接続のセットアップ) をタップしてください。


モデム接続の作成

モデムを接続するには、次の手順を実行します。

- 1 シリアルポートを介して外付けモデムをデバイスに接続するために、モデムカードと適切なアダプタを取り付けます。
- 2 ISP から以下の情報を入手します。
 - ISP ダイアルアップアクセス用電話番号
 - ユーザー名とパスワード
 - TCP/IP 設定

ISP によっては、MSN/ユーザー名 のようにユーザー名の前に入力が必要な場合があります。

- 3 **スタート** → **設定** → **接続タブ** → **接続** をタップします。
- 4 **My ISP** (利用している ISP) または **社内ネットワーク設定** で、新しいモデム接続の追加 をタップします。

- 5 ISP Connection などの接続名を入力します。
 - 6 **モデムの選択** 一覧から、モデムのタイプを選び、**次へ** をタップします。
使用しているモデムタイプが表示されない場合、モデムカードを差し込み直してみてください。ケーブルでデバイスに接続されている外付けモデムを使用している場合、**COM1 上のハイズ互換モデム** を選択します。
詳細に関しては、モデムのユーザーマニュアルを参照してください。
 - 7 ダイヤルする電話番号を入力します。地域コードが必要な場合は、それも含めます。**次へ** をタップします。
 - 8 ユーザー名、パスワード、および必要に応じて、ドメインを入力します。これらの情報は、ISP またはネットワーク管理者から提供されます。
-  **メモ：詳細設定** の設定を変更する必要はありません。ほとんどの最近の ISP は、アドレスを動的に割り当てます。
- 9 接続先の ISP がアドレスを動的に割り当てない場合、**詳細設定** をタップし、**TCP/IP** タブをタップしてから、アドレスを入力します。
 - 10 **OK** をタップします。
 - 11 必要なその他のオプションを選択して、**完了** をタップします。


受信、Internet Explorer Mobile、または MSN Messenger を開くと、デバイスが自動的に接続されます。接続後、以下のことが可能です。

- 受信を使用して、E-メールを送受信する。受信を使用するには、受信が E-メールサーバーと通信するために必要な情報をあらかじめ入力しておく必要があります。詳細に関しては、79 ページの「E-メールサーバーとの直接接続」を参照してください。
- Internet Explorer Mobile を使用して、ウェブおよび WAP ページを参照する。詳細については、92 ページの「Internet Explorer Mobile の使い方」を参照してください。
- MSN Messenger によるインスタントメッセージの送受信。詳細に関しては、90 ページの「MSN Messenger」を参照してください。

Ethernet 接続の作成


Ethernet とは、IEEE 802.3 標準で規定されている一連の LAN 製品を指します。この標準では、CSMA/CD プロトコルとして一般に知られている方式が定義されています。


Ethernet 接続を作成するには、次の手順を実行します。

- 1 ネットワーク管理者に問い合わせ、ユーザー名、パスワード、およびドメイン名を取得します。
- 2 必要に応じて、ネットワークカードドライバをインストールします。詳細に関しては、ネットワークカードに付属のマニュアルを参照してください。
- 3 ネットワークカードを初めて差し込むと、**Network Settings**（ネットワーク設定）ウィンドウが自動的に表示され、ここでネットワークカードを設定できます。後で設定を変更する場合は、**スタート** → **設定** → **接続** タブ → **接続** をタップします。
- 4 特定のサーバー情報を入力する必要がある場合は、該当するアダプタをタップし、**プロパティ** をタップします。プロキシサーバーおよび VPN 接続の設定を入力する必要がある場合があります。詳細に関しては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
 **メモ**：ほとんどのネットワークでは DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）を使用しているので、ネットワーク管理者からの指示がない限り、これらの設定を変更する必要はありません。
- 5 必要であれば、ネットワークケーブルを使ってネットワークカードをネットワークに接続します。詳細に関しては、ネットワークカードに付属のマニュアルを参照してください。

VPN 接続の作成

仮想プライベートネットワーク（VPN）は、公衆回線を使って構築され、ノード間を接続します。VPN システムでは、暗号化その他のセキュリティメカニズムを使って、認証されたユーザーだけにネットワークへのアクセスを許可し、データの傍受を防ぎます。

- 1 **スタート** → **設定** → **接続** タブ → **接続** をタップします。
- 2 **新しい VPN サーバー接続の追加** をタップします。
 **メモ**：VPN サーバーをすでに作成済みの場合は、**Edit My VPN Servers**（使用している VPN サーバーを編集する）をタップし、**新規** をタップします。
- 3 接続の名前を入力します。
- 4 **ホスト名 / IP** フィールドで、VPN サーバー名または IP アドレスを入力します。この情報は、ネットワーク管理者から提供されます。

- 5 デバイスで利用する認証タイプに応じて、**VPNの種類**の横にある**IPSec**または**PPTP**をタップします。
選択するオプションがわからない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
- 6 **次へ**をタップして、ユーザー名、パスワード、および必要な場合はドメインを入力します。
- 7 必要に応じて、ネットワークカードドライバをインストールします。詳細に関しては、ネットワークカードに付属のマニュアルを参照してください。
- 8 **終了**をタップします。
- 9 手動で接続を開始する場合は、接続をタップ&ホールドし、**接続**をタップします。
 **メモ**: VPN 接続では、ネットワークに物理的に接続されていることが必要です。VPN 接続を開始する前に、ユニットがワイヤまたはワイヤレスネットワークにリンクしていることを確認してください。

接続の終了

接続を切断するには、次の手順を実行します。

- 接続を削除するには、削除する接続をタップ&ホールドし、**削除**をタップします。
- ケーブルまたはクレードルを介して接続した場合、ケーブルまたはクレードルからデバイスを外します。
- 赤外線センサーを介して接続した場合、コンピュータからデバイスを遠ざけます。
- ネットワーク（Ethernet）カードを介して接続した場合、デバイスからカードを取り出します。

E-メールサーバーとの直接接続

E-メールサーバーへの接続を設定し、モデムやネットワーク接続とデバイスの受信を使用して、E-メールメッセージを送受信できます。



メモ: ISP またはネットワークに、POP3 または IMAP4 対応のメールサーバーと SMTP ゲートウェイがある必要があります。

複数の E-メールサービスを使って、メッセージを受信できます。利用する各メールサービスで、メールサービスをセットアップして名前を付ける必要があります。

異なるメールボックスへの接続に同じサービスを使う場合、各メールボックス接続をセットアップして、名前を付けます。

メールサービスをセットアップするには、次の手順を実行します。

- 1 デバイスの **受信** で、**アカウント** → **新規アカウント** をタップします。
- 2 E-メールセットアップウィザードの指示に従います。

詳細に関しては、**スタート** → **ヘルプ** をタップします。

お使いの E-メールサーバーに接続するには、**アカウント** → **接続** をタップします。受信プログラムの使い方の詳細に関しては、60 ページの「受信」を参照してください。

接続方法のヘルプの取得

接続方法の詳細に関しては、以下を参照してください。

- 60 ページの「受信」
- デバイスのオンラインヘルプ。**スタート** → **ヘルプ** をタップします。**受信** または **接続** をタップします。
- お使いのコンピュータの ActiveSync Help。ActiveSync で、**ヘルプ** → **Microsoft ActiveSync ヘルプ** をタップします。
- トラブルシューティングに関しては、**www.microsoft.com/japan/windowsmobile** を参照してください。

プログラムの追加と削除

いくつかのプログラムは、デバイスのご購入時に ROM にプリインストールされています。これらのプログラムは削除できません。また、誤って ROM の内容を消去することはありません。***.pku** の拡張子が付いたインストールプログラムを使って、ROM プログラムをアップデートすることができ、データをフラッシュ ROM に保存することができます。

デバイスのメモリに十分な空き容量がある場合は、お使いのデバイス用に作成されたプログラムをインストールすることができます。Microsoft® Windows Mobile™ Version 5.0 software for Pocket PC Premium Edition のウェブサイト、www.microsoft.com/japan/windowsmobile に、お使いのデバイス用の様々なソフトウェアがあります。

Microsoft® ActiveSync® を使用したプログラムの追加

デバイスにソフトウェアをインストールする前に、ActiveSync をお使いのコンピュータにインストールする必要があります。詳細に関しては、コンピュータで **ActiveSync ヘルプ** を参照してください。



メモ： Axim の使用を開始する前に、ActiveSync 4.0 以降のバージョンをインストールする必要があります。ActiveSync 4.0 以降のバージョンは、『Getting Started CD』に収録されています。ActiveSync の詳細に関しては、<http://www.microsoft.com/japan/windowsmobile/help/activesync/default.msp> を参照してください。

- 1 インストールするソフトウェアのバージョンを決めるために、お使いのデバイスとプロセッサタイプを確認するには、次の手順を実行します。
 - a **スタート** → **設定** をタップします。
 - b **システム** タブで、**バージョン情報** をタップします。
 - c **バージョン** タブで、プロセッサ情報を確認します。
- 2 コンピュータにソフトウェアをダウンロードします（または、ソフトウェアが収録されている『Getting Started CD』またはフロッピーディスクをコンピュータに挿入します）。***.exe** または ***.zip** ファイル、**Setup.exe** ファイル、あるいは異なるデバイスタイプおよびプロセッサ用の複数のバージョンのファイルが表示されることがあります。お使いのデバイスのプロセッサタイプに対応している Pocket PC 用のプログラムを選択します。

- 3 インストール方法、**readme** ファイル、またはプログラムに付属しているマニュアルを読みます。多くのプログラムには、特殊なインストール手順があります。
- 4 デバイスをコンピュータに接続します。
- 5 ***.exe** ファイルをダブルクリックします。

ファイルがインストーラファイルの場合、インストールウィザードが起動します。画面の指示に従います。コンピュータにソフトウェアをインストールすると、インストーラがソフトウェアを自動的にお使いのデバイスに転送します。

ファイルがインストーラファイルではない場合、プログラムは有効ですが別のタイプのコンピュータ用です、というエラーメッセージが表示されます。このファイルをお使いのデバイスに移動する必要があります。**readme** ファイルまたはマニュアルにおいてインストール手順が見つからない場合、ActiveSync Explorer を使ってデバイスの **Program Files** (プログラムファイル) フォルダにプログラムファイルをコピーします。ActiveSync を使ったファイルのコピーに関しては、お使いのコンピュータの ActiveSync ヘルプを参照してください。

インストール完了後にプログラムを開くには、**スタート** → **プログラム** をタップし、プログラムのアイコンをタップします。

インターネットからのプログラムのダウンロード

- 1 インストールするソフトウェアのバージョンを決めるために、お使いのデバイスとプロセッサタイプを確認するには、次の手順を実行します。
 - a **スタート** → **設定** をタップします。
 - b **システム** タブで、**バージョン情報** をタップします。
 - c **バージョン** タブで、プロセッサ情報を確認します。
- 2 Internet Explorer Mobile を使って、デバイスにプログラムをダウンロードします。***.exe** または ***.zip** ファイル、**Setup.exe** ファイル、あるいは異なるデバイスタイプおよびプロセッサ用の複数のバージョンのファイルが表示されることがあります。お使いのデバイスのプロセッサタイプに対応している Pocket PC 用のプログラムを選択します。
- 3 インストール方法、**readme** ファイル、またはプログラムに付属しているマニュアルを読みます。多くのプログラムには、特殊なインストール手順があります。
- 4 ***.exe** ファイルなどのファイルをタップします。
インストールウィザードが起動します。画面の指示に従います。

プログラムのスタートメニューへの追加

- 1 スタート → **設定** をタップします。
- 2 **メニュー** をタップし、プログラムのチェックボックスをタップします。
プログラムが一覧に表示されない場合、デバイスの **File Explorer** を使って、プログラムを **スタートメニュー** フォルダに移動するか、コンピュータの **ActiveSync** を使って、以下の手順でプログラムのショートカットを作成します。
 - a **ActiveSync** のエクスプローラを使って、デバイスファイルを参照し、プログラムの場所を確認します。
 - b プログラムを右クリックして、**ショートカットの作成** をクリックします。
 - c ショートカットを **Windows** フォルダにある **スタートメニュー** フォルダに移動します。
ショートカットが **スタート** メニューに表示されます。詳細に関しては、お使いのコンピュータの **ActiveSync** ヘルプを参照してください。

プログラムの削除

- 1 スタート → **設定** をタップします。
- 2 **システム** → **Remove Programs** (プログラムの削除) をタップします。
- 3 プログラムの名前をタップ&ホールドして、ポップアップメニューの **削除** をタップします。
インストールされているプログラムの一覧に削除するプログラムが表示されない場合、デバイスの **File Explorer** を使ってプログラムの場所を確認します。

付属プログラムの使い方

付属プログラムには、Word Mobile、Excel Mobile、PowerPoint Mobile、Windows Media Player for Pocket PC が含まれます。

お使いのデバイスの付属プログラムを使用するには、**スタート** → **プログラム** をタップし、プログラム名をタップします。



メモ：デバイスをコンピュータに初めて接続するときは、その前に『Dell™ Getting Started CD』を使ってコンピュータに ActiveSync をインストールします。

Word Mobile

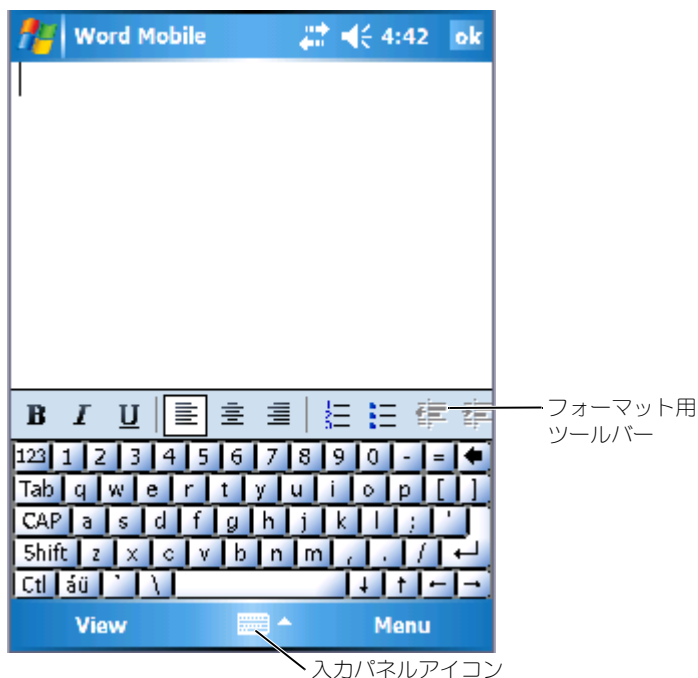
Word Mobile は、お使いのコンピュータの Microsoft Word に対応しており、コンピュータの文書を簡単に利用することができます。デバイスで新規文書を作成したり、コンピュータからデバイスに文書をコピーすることができます。お使いのコンピュータとデバイス間で文書を同期化して、コンピュータとデバイスの両方を最新の内容にします。

Word Mobile を使って、手紙、議事録、出張報告書などの文書を作成できます。

新しいファイルを作成するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** → **プログラム** → **Word Mobile** をタップします。
- 2 **新規** をタップします。

新規文書が表示されます。または、**オプション** ダイアログボックスで新規文書にテンプレートを選択した場合、テキストの入ったフォーマット済みのテンプレートが表示されます。



一度に開くことのできる文書は 1 つだけです。2 つ目の文書を開くと、最初の文書を保存するかどうか尋ねられます。Word (.doc)、Word テンプレート (.dot)、リッチテキスト形式 (.rtf)、テキスト文書 (.txt) など、様々な形式のファイルを作成、保存、または編集できます。

Word Mobile には、デバイスに保存されたファイルの一覧が収納されています。一覧内のファイルをタップして開きます。ファイルの削除、コピーの作成、またはファイルを送信するには、一覧内のファイルをタップ&ホールドします。次に、ポップアップメニューから該当する操作を選択します。

Word Mobile には、タイプ、書き込み、描画、録音によってデータを入力できます。これらの各モードは、表示メニューに表示されます。それぞれのモードに独自のツールバーがあり、コマンドバーの **ツールバーの表示 / 非表示** アイコンをタップして、ツールバーの表示と非表示を切り替えることができます。

ズーム倍率を変更するには、表示 → **ズーム** をタップしてから希望する倍率を選びます。文字の入力には高い倍率を、文書のより広い部分を表示させるには低い倍率を選びます。

コンピュータで作成した Word 文書を開いている場合、表示メニューの **ウィンドウ幅に合わせる** を選ぶと文書全体を表示できます。

Excel Mobile

Excel Mobile は、コンピュータの Microsoft Excel に対応しており、コンピュータのワークブックを簡単に利用することができます。デバイスで新規ワークブックを作成したり、コンピュータからデバイスにワークブックをコピーできます。お使いのコンピュータとデバイス間でワークブックを同期化して、コンピュータとデバイスの両方を最新の内容にします。

Excel Mobile を使って、会計報告書や積算距離記録などのワークブックを作成します。

新しいファイルを作成するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** → **プログラム** → **Excel Mobile** をタップします。
- 2 **新規** をタップします。

新規ワークブックが表示されます。または、**オプション** ダイアログボックスで新規ワークブックにテンプレートを選択した場合、数式の入ったフォーマット済みのテンプレートが表示されます。



一度に開くことのできるワークブックは 1 つだけです。2 つ目のワークブックを開くと、最初の文書を保存するか尋ねられます。Excel テンプレート (.xlt) や Excel (.xls) など、様々なフォーマットのワークブックを作成、保存、および編集できます。

Excel Mobile には、デバイスに保存されたファイルの一覧が収納されています。一覧内のファイルをタップして開きます。ファイルの削除、コピーの作成、またはファイルを送信するには、一覧内のファイルをタップ&ホールドします。次に、ポップアップメニューから該当する操作を選択します。

Excel Mobile には、数式、関数、並べ替え、フィルタなどの基本的な表計算ツールが用意されています。ツールバーを表示するには、**表示** → **ツールバー** をタップします。

Excel Mobile での作業のヒント

以下に、Excel Mobile で大きなワークシートを使って作業する場合のヒントを示します。

- 全画面表示を使用します。**表示** → **全画面表示** をタップして、ワークシートのできるだけ広い範囲を表示します。全画面モードを終了するには、**元に戻す** をタップします。
- ウィンドウの構成部分を表示 / 非表示にします。**表示** をタップしてから、表示または非表示にする構成部分をタップします。
- ワークシートのウィンドウ枠を固定します。ウィンドウ枠を固定するセルを選択します。**表示** → **ウィンドウ幅の固定** をタップします。ワークシートの一番上と一番左のウィンドウ枠を固定すると、シートをスクロールして行と列の名前を表示することもできます。
- ウィンドウを分割して、大きなワークシートの異なる領域を表示します。**表示** → **分割** をタップします。分割バーを目的の場所にドラッグします。分割を元に戻すには、**表示** → **分割の解除** をタップします。
- 行および列の表示と非表示を切り替えます。行または列を非表示にするには、非表示にする行や列のセルを選択します。**メニュー** → **フォーマット** → **列** または **行** → **表示しない** をタップします。隠れている列または行を表示するには、**メニュー** → **編集** → **Go To** (ジャンプ) をタップしてから、隠れている列または行の参照情報を入力します。**メニュー** → **フォーマット** → **列** または **行** → **再表示** をタップします。

Excel Mobile の詳しい使い方に関しては、**スタート** → **ヘルプ** をタップします。

PowerPoint Mobile

PowerPoint Mobile は、コンピュータの Microsoft PowerPoint に対応しており、コンピュータのプレゼンテーションのスライドに簡単にアクセスできます。スライドトランジションやアニメーションなどのスライドショーに組み込まれたプレゼンテーションの様々な構成要素が、デバイス上で再生されます。プレゼンテーションが時間指定のスライドショーとしてセットアップされている場合、1つのスライドから次のスライドに自動的に進みます。

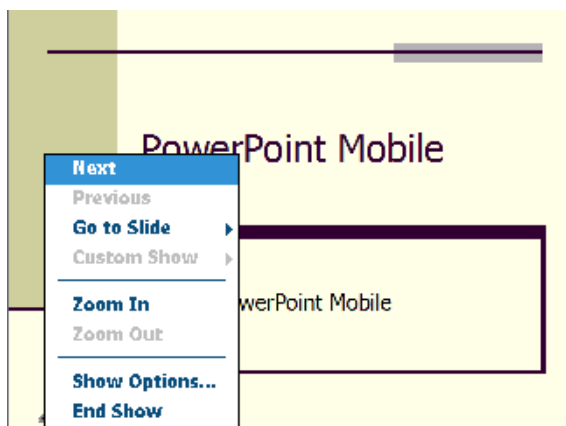
PowerPoint Mobile では、URL へのリンクもサポートされています。

デバイスでサポートされていない PowerPoint の機能は次のとおりです。

- **メモ**。スライドに書き込まれたメモは表示されません。
- **スライドの並べ替えまたは編集**。PowerPoint Mobile は表示専用です。

プレゼンテーションを開始するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** → **プログラム** → **PowerPoint Mobile** をタップします。
- 2 プレゼンテーション一覧で、表示するスライドショーをタップします。
- 3 現在のスライドをタップして、次のスライドに進みます。
プレゼンテーションが時間指定のスライドショーとしてセットアップされている場合、スライドは自動的に進みます。



一度に開くことのできる文書は 1 つだけです。2 つ目の文書を開くと、最初の文書を保存して閉じるかどうか尋ねられます。PowerPoint (.ppt) や PowerPoint Mobile (.pps) など、様々な形式で文書を表示できます。

PowerPoint Mobile には、お使いのデバイスに保存されたファイルの一覧が収納されています。一覧内のファイルをタップして開きます。ファイルの削除、コピーの作成、またはファイルを送信するには、一覧内のファイルをタップ&ホールドします。次に、ポップアップメニューから該当する操作を選択します。

MSN Messenger

MSN Messenger インスタントメッセージプログラムを使って、以下を実行することができます。

- オンライン中のユーザーの確認
- インスタントメッセージの送受信
- 連絡先グループとのインスタントメッセージ会話

MSN Messenger を利用するには、Microsoft Passport アカウントまたは Microsoft Exchange E-メールアカウントが必要です。MSN Messenger Service を利用するには Passport が必要です。Hotmail または MSN アカウントをお持ちの場合は、Passport も既にお持ちです。Microsoft Passport または Microsoft Exchange アカウントを取得したら、アカウントをセットアップします。



メモ : www.passport.com で、Microsoft Passport アカウントを登録します。www.hotmail.com で、Microsoft Hotmail E-メールアドレスを無料で取得できます。

MSN Messenger に切り替えるには、**スタート → プログラム Pocket MSN → MSN Messenger** をタップします。



メモ : MSN Messenger を使用できるかどうかは、言語ベースによって異なります。

設定

接続する前に、Passport または Exchange アカウント情報を入力する必要があります。

アカウントをセットアップしてサインインするには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート → プログラム → Pocket MSN → MSN Messenger** をタップします。
- 2 **メニュー → オプション** をタップします。
- 3 Passport または Exchange アカウント情報を入力します。
- 4 サインインするには、サインイン画面をタップして、E-メールアドレスおよびパスワードを入力します。

連絡先での作業

MSN Messenger ウィンドウに、**オンライン** および **オフライン** のカテゴリに分類されたすべてのメッセンジャー連絡先が表示されます。接続中に、このウィンドウでポップアップメニューを利用して、チャット、E-メールの送信、連絡先からのチャットのブロック、または一覧からの連絡先の削除が行えます。



メモ：お使いのコンピュータで既に MSN Messenger をお使いの場合、連絡先は追加しなくてもデバイスに表示されます。

オンラインのユーザーから見られることなく他のユーザーを確認するには、**メニュー** → **状態** → **オフライン** をタップします。

連絡先をブロックした場合、お客様はオフラインとして表示されますが、ブロックされた連絡先一覧に残ります。連絡先のブロックを解除するには、連絡先をタップ & ホールドしてから、ポップアップメニューの **禁止解除** をタップします。

連絡先とのチャット

- 連絡先名をタップして、チャットウィンドウを開きます。画面下部のテキスト入力領域にメッセージを入力するか、**My Text**（定型文）をタップして、定型文メッセージを入力してから、**送信** をタップします。
- 別の連絡先をマルチユーザーチャットに誘うには、**メニュー** → **Chats**（チャット） → **招待** をタップして、誘う連絡先をタップします。
- チャットを終了せずにメインウィンドウに戻るには、**連絡先** アイコンをタップします。チャットウィンドウに戻るには、**チャット** をタップして、チャットをしていた相手を選択します。
- チャットの相手が応答したかどうかを確認するには、テキスト入力領域の下でメッセージを探します。

MSN Messenger の詳しい使い方に関しては、**スタート** → **ヘルプ** をタップします。

Pocket PC 用 Microsoft Windows Media[®] Player

Pocket PC 用 Windows Media Player を使って、お使いのデバイスまたはネットワーク上のデジタルオーディオおよびビデオファイルを再生できます。Pocket PC 用 Windows Media Player に切り替えるには、**スタート** → **Windows Media** をタップします。

お使いのコンピュータの Windows Media Player を使って、デジタルオーディオやビデオファイルを Pocket PC にコピーできます。お使いの Pocket PC では、Windows Media および MP3 ファイルを再生できます。Pocket PC 用 Windows Media Player の詳しい使い方に関しては、**スタート** → **ヘルプ** をタップします。

Internet Explorer Mobile の使い方

Internet Explorer Mobile を使って、ウェブまたは WAP ページを参照できます。

- コンピュータとの同期化中に、コンピュータの Internet Explorer 内のお気に入りと **モバイルのお気に入り** サブフォルダに保存されているモバイルのお気に入りをダウンロードします。
- ISP（インターネットサービスプロバイダ）またはネットワークに接続して、ウェブを参照します。インターネットへの接続に関しては、「67 ページの「接続」」を参照してください。

デバイスが ISP またはネットワークに接続されたら、ファイルおよびプログラムをインターネットまたはイントラネットからダウンロードできます。

Internet Explorer Mobile を使用するには、**スタート** → **Internet Explorer Mobile** をタップします。

モバイルのお気に入り

お使いのコンピュータで Microsoft Internet Explorer 5.0 以降をお使いの場合、お使いのデバイスにモバイルのお気に入りをダウンロードできます。モバイルのお気に入りを同期化すると、デバイスにウェブコンテンツがダウンロードされ、ISP やコンピュータに接続していなくても、ページを見ることができます。Microsoft ActiveSync[®] を使ってインストールした Internet Explorer のプラグインを使用すると、モバイルのお気に入りをすばやく作成できます。

お使いのコンピュータにモバイルのお気に入りを作成し、デバイスにダウンロードするには、次の手順を実行します。

- 1 コンピュータで、Internet Explorer を開き、**ツール → モバイルのお気に入りへの作成** とクリックします。
- 2 リンク名を変更するには、**名前** ボックスに新しい名前を入力します。
- 3 **更新** の横にあるアップデートスケジュールを指定します（オプション）。
- 4 **OK** をクリックします。

Internet Explorer がページの最新バージョンをお使いのコンピュータにダウンロードします。

- 5 コンピュータの Internet Explorer で、モバイルのお気に入りを右クリックし、**プロパティ** をクリックします。
- 6 **ダウンロード** タブで、ダウンロードするレベルの深さを指定します。ページのメモリを節約するには、レベルの深さを **1** にします。
- 7 お使いのデバイスとコンピュータを同期化します。

Internet Explorer の **モバイルのお気に入り** フォルダに保存されているモバイルのお気に入りが、デバイスにダウンロードされます。

手順 3 でアップデートのスケジュールを指定しなかった場合、コンテンツを手動でダウンロードして、コンピュータとデバイスのデータを最新にする必要があります。デバイスとの同期化を行う前に、お使いのコンピュータの Internet Explorer で **ツール** をクリックし、**同期** をクリックします。**最終更新日** カラムの日付は、お使いのコンピュータにコンテンツがダウンロードされた最後の日付です。必要であれば、コンテンツを手動でダウンロードすることができます。



メモ：モバイルのお気に入りを作成するためのアイコンを、Internet Explorer ツールバーに追加できます。お使いのコンピュータ上の **表示 → ツールバー** をクリックして、**カスタマイズ** をクリックします。

メモリの節約

モバイルのお気に入りは、お使いのデバイスのメモリを使用します。メモリ使用量を最小限に抑えるには、以下を実行します。

- 画像や音を切ったり、ActiveSync オプションの **お気に入り** 設定で、デバイスへダウンロードするモバイルのお気に入りの数を制限します。詳細に関しては、お使いのコンピュータの ActiveSync ヘルプを参照してください。
- ダウンロードするリンクの付いたページ数を制限します。コンピュータの Internet Explorer で、変更するモバイルのお気に入りを右クリックし、**プロパティ** をクリックします。**ダウンロード** タブで、ダウンロードするリンク付きのページ数を **0** または **1** に設定します。

モバイルのお気に入りフォルダ

お使いのコンピュータの Internet Explorer の **モバイルのお気に入り** サブフォルダ (**お気に入り** フォルダ内) に保存されている項目のみ、デバイスと同期化されます。フォルダは、ActiveSync をインストールする際に、自動的に作成されています。

お気に入りのリンク

同期化中に、お使いのコンピュータの **モバイルのお気に入り** フォルダにあるお気に入り一覧が、デバイスの Internet Explorer Mobile と同期化されます。コンピュータとデバイスは、同期化するたびにどちらかの一覧に加えられた変更内容で更新されます。モバイルのお気に入りとしてお気に入りリンクにマークを付けない限り、デバイスにはリンクのみがダウンロードされます。コンテンツを参照するには、ISP またはネットワークに接続する必要があります。同期化の詳細に関しては、コンピュータの ActiveSync ヘルプを参照してください。

モバイルのお気に入りおよびウェブの参照

Internet Explorer Mobile を使用すると、インターネットに接続せずに、デバイスにダウンロードしたモバイルのお気に入りやチャンネルを参照できます。ISP やネットワークに接続して、ウェブを参照することもできます。



お気に入りアイコン

モバイルのお気に入りとチャンネルを参照するには、次の手順を実行します。

- 1 お気に入りアイコンをタップして、お気に入り一覧を表示します。
- 2 参照するページをタップします。

最後にコンピュータと同期化した際にダウンロードされたページが表示されます。ページがお使いのデバイス上にない場合、お気に入りは暗く表示されます。ページを参照するには、コンピュータと再度同期化して、デバイスにページをダウンロードするか、インターネットに接続する必要があります。

インターネットを参照するには、67 ページの「接続」で説明するように、**接続** を使って ISP が勤務先のネットワークへの接続をセットアップします。



メモ：お気に入りリンクを追加するには、追加するページに移動し、ページをタップ&ホールドしてから **お気に入りに追加** をタップします。

インターネットに接続して参照するには、以下のいずれかを実行します。

- **お気に入り** アイコンをタップして、参照するお気に入りをタップします。
- **Internet Explorer** の画面上部に表示されるアドレスフィールドに、希望するウェブアドレスを入力し、右側のアイコンをタップします。または、下向き矢印をタップして、すでに入力されているアドレスを選択します。

メンテナンスと トラブルシューティング

Axim のメンテナンス

デバイスのメンテナンスを定期的に行うには、『Getting Started CD』に収録されている Dell Axim Self Diagnostic ユーティリティを使用します。この診断ユーティリティを使用して、ボタン、オペレーティングシステムのバージョン、バッテリーの状態、ビデオの再生、LED、ドライバ、ミラーモード、Bluetooth、ワイヤレス、および USB リンクなど、お使いのデバイスの様々な機能をテストすることができます。

診断ユーティリティのインストール

ユーティリティをインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 デバイスとコンピュータを ActiveSync で接続します。
- 2 『Getting Started CD』をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。
- 3 **Getting Started** (はじめに) → **Enhance Your Experience** (体験を促進) → **ツール** をクリックします。
- 4 ツール選択メニューで **Pocket PC Applications** (Pocket PC アプリケーション) を選択します。
- 5 一覧を **Dell Axim X51/X51v Self-Diagnostic ユーティリティー** が表示されるまで下方向にスクロールします。
- 6 **詳細** → **インストール** をクリックします。
- 7 画面の手順に従って、Self-Diagnostic ユーティリティーをインストールします。

診断を行うには、**スタート** → **プログラム** → **Axim Self-Diagnostics** をタップします。

トラブルシューティング

以下の表に、一般的な問題とその解決策を示します。トラブルシューティングを実行するには、解決策の一覧からいずれか 1 つを採用するか、または複数の解決策を記載順に実行します。

ソフトリセットまたはハードリセットについては、27 ページの「Axim のリセット」を参照してください。

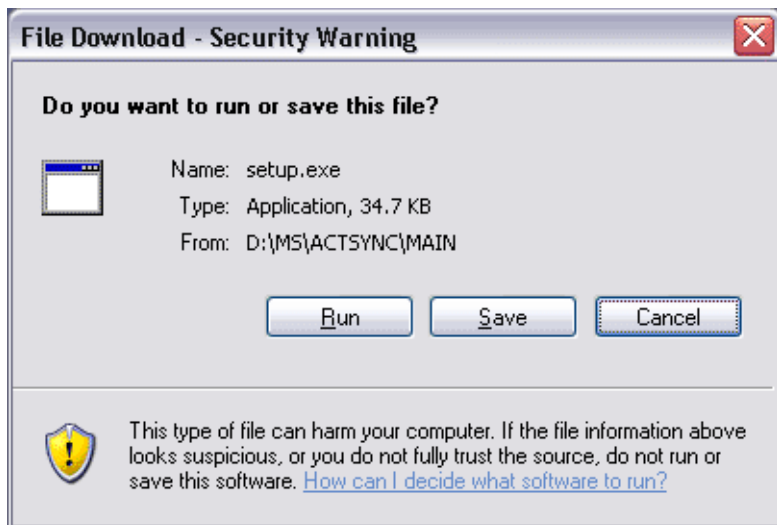
問題	解決方法
CompactFlash II または SD カードなどフォームファクタのアクセサリがデバイスで検出されない	<ul style="list-style-type: none">• スロットからカードを取り出し、デバイスのソフトリセットを実行します。• デバイスのソフトリセットを実行してもカードが検出されない場合は、スロットからカードを取り出し、デバイスのハードリセットを実行します。• 一部のカードでは、専用ソフトウェアが必要です。必要であれば、ソフトウェアをインストールします。
画面をタップしてもシステムが応答しない	<ul style="list-style-type: none">• タッチスクリーンの汚れを除去します。• システムの左側面にあるボタンロックを確認します。• タッチスクリーンの汚れを除去します。• デバイスのソフトリセットを実行します。
システムがボタンコマンドに応答しない	<ul style="list-style-type: none">• システムの左側面にあるボタンロックを確認します。• ロックされている場合は、Today 画面でロック解除をタップします。• ボタンの割り当て設定を確認します。• デバイスのソフトリセットを実行します。
デバイスでメモリエラーが発生する	<ul style="list-style-type: none">• デバイスの自己診断を実行します。• デバイスのソフトリセットを実行します。• デバイスのハードリセットを実行します。ただし、データは削除しません。• デバイスのハードリセットを実行し、データを削除します。

問題	解決方法
Bluetooth のキーボードが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> • 左 CTRL、左 FN、右 FN を 3～5 秒間押し続けます。 • デバイスのソフトリセットを実行してから、以下の手順を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • スタート → 設定 → Dell Axim Executive Keyboard をタップします。 • Enable (有効にする) をタップし、もう一度キーボードを設定します。 • キーボードのバッテリーを交換します。 • デバイスのハードリセットを実行してから、キーボードドライバを再インストールします。
新規検索を実行後、Bluetooth Manager に GPS ユニットが表示されない	<p>New Partnership (新規パートナーシップ) をクリックし、デバイスの新規検索を開始します。</p>
GPS をダッシュボードに置くと、信号が送信されない	<p>VW、BMW、Mercedes などの新型車の多くは、フロントガラスに GPS 信号を遮断するための金属製の UV フィルタが装着されています。GPS ユニットを後部ウィンドウの近くに置いてみてください。</p>
GPS ステータスウィンドウに、GPS 信号の待機状態が表示される。または、GPS 情報が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • GPS ユニットの電源を切り、もう一度電源を入れ直します。 • Bluetooth Manager のシリアルポートの接続を確認します。 • Navigation ソフトウェアの Auto Detect (自動検出) を使って、正しい COM ポートとボーレートを確認します。 • GPS ユニットの置き方を確認します。ユニットの上部が空に向いている必要があります。
お使いの Dell Axim ハンドヘルドで使用する Microsoft ActiveSync のトラブルシューティング	<p>コンピュータの Microsoft ActiveSync ヘルプを参照するには、Microsoft ActiveSync を始動し、ヘルプ → Microsoft ActiveSync をクリックします。</p> <p>Microsoft ActiveSync のトラブルシューティングの詳細に関しては、http://www.microsoft.com/windowsmobile/help/activesync/default.aspx を参照してください。</p>

トラブルシューティングの手順については、お使いのキーボードに同梱の CD に収録されているソフトコピーマニュアルを参照してください。

ファイルダウンロードセキュリティ警告

Microsoft® Windows® XP Service Pack 2 (SP2) を実行している Dell システムにソフトウェアプログラムをインストールしようとした場合、以下のようなファイルダウンロードセキュリティ警告のメッセージが表示されます。



ソフトウェアプログラムをお使いのシステムにインストールしようとした場合、そのつど安全のために、ファイルダウンロードセキュリティ警告が表示されます。これは、インストールしようとするソフトウェアの作成者にかかわらず発生します。



メモ: この警告は、お使いの Dell システムに問題があることを示しているわけではありません。

付録

仕様

システム情報

プロセッサ	ハイ エンド	Intel® XScale™ PXA270 プロセッサ、 最大 624 MHz
	標準	Intel® XScale™ PXA270 プロセッサ、 最大 520 MHz
	ベーシック	Intel® XScale™ PXA270 プロセッサ、 最大 416 MHz
メモリ	ハイ エンド	64 MB/256 MB NAND Flash ROM
	標準	64 MB/128 MB NAND Flash ROM
	ベーシック	64 MB/128 MB NAND Flash ROM
オペレーティング システム		Microsoft® Windows Mobile™ Version 5.0 software for Pocket PC Premium Edition

ディスプレイ

タイプ		QVGA、VGA 表示 TFT カラー 16 ビット、タ ッチ センシティブ、半透過型ディスプレイ
サイズ	ハイ エンド	3.7 インチ (VGA 表示)
	標準	3.5 インチ (QVGA TFT)
	ベーシック	3.5 インチ (QVGA TFT)
解像度		240 x 320 (QVGA) 65,536 色 480 x 640 (VGA 表示) 65,536 色
LCD 輝度		QVGA : 100 nit VGA 表示 : 100 nit

ボタンとライト

ナビゲーション ボタン：	5 方向ナビゲーションボタン プログラムボタン 4 種：予定表ボタン、連絡 先ボタン、受信ボタン、ホームボタン 電源オン / オフ ワイヤレス LAN/Bluetooth® ワイヤレス テクノロジーのオン / オフボタン 録音ボタン リセットボタン ロックボタン
ライト：	同期化 / 通信 イベント通知 充電ステータス

拡張スロット

SD メモリカード	SD メモリカードスロット (3.3v) × 1、1 ビッ トおよび 4 ビット SDIO カードをサポート
コンパクトフラッシュカード	CompactFlash タイプ II カードスロット (3.3v) × 1

ポートとコネクタ

赤外線ポート	標準 v1.2 (115 kbps)
クレードル / 同期化コネクタ	36 ピンコネクタ
オーディオ	モノマイク対応コネクタ付きステレオヘッド フォン

サイズと重量

寸法：

奥行き 119.0 mm

横幅 73.0 mm

縦幅 16.9 mm

重量 ハイ 175 g (標準バッテリー使用 VGA 表示)

メモ：ここに示す重量はデ
バイスの重量であり、

CompactFlash カードおよ
び SD メモリカードの重量
は含まれません。

標準 167 g (標準バッテリー使用 VGA 表示)

ベーシック 167 g (標準バッテリー使用 VGA 表示)

オーディオ

オーディオコントローラ WM8750L サウンドチップ

ステレオ変換 16 ビットステレオ；8.0、11.025、22.05、および
44.1 KHz サンプルレート

録音 全二重方式録音および再生

マイク/スピーカー 内蔵

ヘッドフォン ステレオコネクタ

グラフィックス

ハイ Marathon
エンド

ワイヤレス接続

WLAN (802.11b)	ハイ エンド	802.11b
	標準	802.11b
	ベーシック	SDIO カードのみ (CF 非対応)
ネットワーク規格		IEEE 802.11b
データ転送速度		1 Mbps、2 Mbps、5.5 Mbps、11 Mbps
変調		CCK (11 Mbps、5.5 Mbps)、 DQPSK (2 Mbps)、DBSPK (1 Mbps)
ネットワーク アーキテクチャ		アドホックおよびインフラストラクチャ
動作周波数		2.4 ~ 2.497 GHz
動作チャネル		1 ~ 11 (北米)、 1 ~ 13 (ヨーロッパおよび日本)
RF 出力		最大 13.0 dBm
範囲		室内 — 5 Mbps で 最高 10 m、0.5 Mbps で 最高 75 m
クライアント ユーティリティ		自動ロケーションプロファイル、サイト調 査、診断、現在のリンク状況、Ping
ソフトウェアのサポート		Wi-Fi 認定済み
ライト		緑 (WLAN ステータス) 青 (Bluetooth ワイヤレステクノロジー ステータス)
スイッチ		マニュアルラジオのオン / オフ (ハード ウェアボタンおよびソフトウェアスイッ チ)、航空規制準拠
Bluetooth ワイヤレス テクノロジー		2.4 GHz ISM 帯域幅の動作、ワイヤレス テクノロジーの Bluetooth の管理機能、 Class II デバイス、最大 4 dBm の o/p 電 力、3.3V 動作、UART インタフェースを 含む Bluetooth 1.2 ワイヤレステクノロ ジ対応

電源装置

バッテリータイプ：

代表 1100 mAh リチウムイオン、リムーバブル、充電式バッテリー（標準）

2200 mAh リチウムイオン、リムーバブル、充電式バッテリー（オプション）

バックアップ

RTC データ保存用コンデンサ

AC アダプタ：

電圧 100 ~ 240 VAC

周波数 50 ~ 60 Hz

消費電力 0.4 A

出力電圧： 5.4 VDC

出力電流 2.41 A

環境

温度範囲：

動作時 0 ~ 40 °C

保管時 -20 ~ 60 °C

温度変化：

動作時 1 時間当たり最大 15 °C

保管時 1 時間当たり最大 20 °C

相対湿度（最大）：

動作時 10 ~ 90 %（結露しないこと）

保管時 5 ~ 95 %（結露しないこと）

環境（続き）

高度（最大）：

動作時 0 ~ 3,048 m

保管時 0 ~ 12,190 m

最大衝撃（2 ミリ秒の正弦半波パルスで測定）：

動作時 200 G

保管時 400 G

最大振動（ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用時）：

動作時 2.6 GRMS

保管時 3.41 GRMS

用語集

802.11 (Wi-Fi) — 中距離内にある複数のネットワークデバイスが、お互いを自動的に認識できるようにするワイヤレステクノロジー標準です。

BLUETOOTH® ワイヤレステクノロジー — 短距離（10メートル）内にある複数のネットワークデバイスが、お互いを自動的に認識できるようにするワイヤレステクノロジー標準です。

DHCP—dynamic host configuration protocol（動的ホスト構成プロトコル） — ネットワーク管理者が、ネットワークのコンピュータへの Internet Protocol アドレス割り当てを管理および自動化できる通信プロトコルです。

IMAP—Internet message access protocol（インターネットメッセージアクセスプロトコル） — デバイスから E-メールにアクセスできるようにする標準クライアント/サーバープロトコルです。IMAP を使用すると、ISP のサーバー上で E-メールを保管および参照できます。

ISP—Internet service provider（インターネットサービスプロバイダ） — インターネットへの接続、E-メールの送受信、およびウェブサイトへのアクセスを行うためにホストサーバーへのアクセスを提供する機関です。通常、ISP はソフトウェアのパッケージ、ユーザー名、およびアクセス用の電話番号を有料（月払い）で提供します。

LAN—local area network（ローカルエリアネットワーク） — 狭い範囲にわたるコンピュータネットワークです。LAN は通常、1 棟の建物内や隣接する 2、3 棟の建物内に限定されます。LAN は電話回線や電波を介して他の離れた LAN と接続し、WAN（ワイドエリアネットワーク）を構成できます。

PIM—personal information manager（スケジュール管理） — 予定表、連絡先、受信、仕事など、個人情報を保存および整理するプログラムです。

POP3—post office protocol 3（ポストオフィスプロトコル 3） — ISP のサーバーから E-メールにアクセスできるようにする標準クライアント/サーバープロトコルです。POP3 を使用して、E-メールをローカルシステムデバイスにダウンロードし、メッセージを表示および参照します。

RAM—random-access memory（ランダムアクセスメモリ） — プログラムの命令やデータを保存する、コンピュータの主要な一時記憶領域です。RAM に保存される情報は、リセットを実行すると失われます。

RAS—remote access server（リモートアクセスサーバー） — ユーザーがリモートロケーションからネットワークにアクセスできるようになるサーバーです。

ROM—read-only memory（読み取り専用メモリ） — コンピュータが削除したり書き込みできないデータやプログラムを保存するメモリです。ROM は、RAM とは異なり、リセット実行後も内容を保持します。デバイスの動作に不可欠のプログラムで ROM に常駐しているものがいくつかあります。

SDRAM—synchronous dynamic random-access memory（同期ダイナミックランダムアクセスメモリ） — マイクロプロセッサの最適クロック速度と同期された DRAM の一種です。

SD メモリカード — デジタルカメラ、携帯デバイス、携帯電話などのデバイスで一般的に使用されるリムーバブルメモリです。SD メモリカードはおおよそ郵便切手ほどのサイズです。

SMS—short message service (ショートメッセージサービス) — ショートメッセージをワイヤレスデバイスに送信できるサービスです。

SMTP—simple mail transfer protocol — E-メールの送受信に使用されるプロトコルです。SMTP は通常、POP3 または IMAP と使用されます。

Sync ケーブル — 携帯デバイスをコンピュータに接続しファイルを転送または同期化するとき使用されるケーブルです。

TCP/IP—transmission control protocol/Internet protocol— インターネットの基本通信言語です。TCP/IP は、イントラネットまたはエクストラネットの通信プロトコルとしても使用できます。

USB—universal serial bus (ユニバーサルシリアルバス) — USB 互換キーボード、マウス、ジョイスティック、スキャナー、スピーカー、プリンタ、ブロードバンドデバイス (DSL およびケーブルモデム)、撮像装置、またはストレージデバイスなどの低速デバイス用ハードウェアインタフェースです。コンピュータの 4 ピンソケットかコンピュータに接続されたマルチポートハブに直接デバイスを接続します。USB デバイスは、コンピュータの電源が入っていても接続したり取り外したりすることができます。また、デイジーチェーン型に接続することもできます。

VPN—virtual private network (仮想プライベートネットワーク) — リモートユーザーが安全にネットワークにアクセスできる通信プロトコルのセットです。

WAP—wireless application protocol (ワイヤレスアプリケーションプロトコル) — ワイヤレスデバイスがインターネットにアクセスする方法の規格です。

クレードル — 携帯デバイスをコンピュータと同期化し、バッテリーを充電して、AC 電源で実行できるようにするデバイスです。

コンパクトフラッシュカード — デバイス機能の拡張に使用されるリムーバブルカードです。一般的なコンパクトフラッシュカードには、メモリおよびワイヤレスカードがあります。

シリアルコネクタ — I/O ポートは、コンピュータにハンドヘルドデジタルデバイスやデジタルカメラなどのデバイスを接続するためによく使用されます。

赤外線センサー — ケーブルを使用しなくても、コンピュータと赤外線互換デバイス間のデータ転送ができるポートです。

同期化 — ある場所のファイルを別の場所にある最新のファイルで置き換えることを自動的に実行するプロセスです。たとえば、コンピュータのファイルを携帯デバイスのファイルと同期化できます。

索引

A

ActiveSync

インストール, 52

Axim のリセット, 27

Axim の使い方, 19

B

block recognizer, 41

Bluetooth

設定, 50

C

CompactFlash

スロット, 13

説明, 26

取り付け, 26

E

ethernet 接続, 77

Excel

説明, 87

ヒント, 88

ファイルの削除, 88

Excel でのファイル削除, 88

E-メール

サーバーとの接続, 60

サーバーへの接続, 79

受信, 60

同期化, 60

メッセージ一覧, 61

メッセージの作成, 62

整理, 63

F

File Explorer の使い方

削除, 64

I

Internet Explorer

ウェブの参照, 94

お気に入りのリンク, 94

モバイルのお気に入り, 92, 94

L

letter recognizer, 41

M

Media Player

説明, 92

Microsoft® ActiveSync®, 51

Microsoft® Windows®

Mobile™ Version 5.0, 30

MSN Messenger

設定, 90

説明, 90

連絡先での作業, 91

P

Pocket Outlook

説明, 53

PowerPoint

説明, 89

ファイルの削除, 90

PowerPoint でのファイル

削除, 90

S

SD カードスロット

位置, 13

カードの取り付け, 27

Sync ケーブル

コンピュータとの接続, 24

T

transcriber, 42

V

VPN 接続, 77

W

Word

説明, 85

ファイルの削除, 86

Word でのファイル削除, 86

あ

アイコン

ステータス, 30

プログラム, 32

インターネット

接続, 67

絵

作成, 46

オーディオ

Media player, 92

通知, 64

か

カードの使い方, 26

会議のリクエスト

作成, 55

書き込み

block recognizer, 41

letter recognizer, 41

transcriber, 42

画面, 42

絵, 46

手書きテキストの活字体への

変換, 41

拡張スロット

CompactFlash, 26

位置, 13

確認の通知 ※通知を参照

活字体

手書きテキストの変換, 41-42

画面での描画, 46

キーボード

ソフト, 40

切り替えバー, 32

クレードル
コンピュータへの接続, 22
コマンドバー, 33
コンピュータ
接続, 22, 25

さ

サービスタグ, 10, 18
削除
File Explorer の使い方, 65
仕事
作成, 58
説明, 58
仕様, 101
受信
説明, 60
スタイラス
使い方, 21
赤外線
使用, 74
設定, 48
個人用タブ, 49
システムタブ, 49
接続タブ, 50
切断
ケーブルまたはクレードルから,
78
赤外線センサー, 78
ダイヤルアップ接続, 78
ネットワークから, 78
ソフトウェア ※プログラムを
参照

た

通信
他のデバイスとの通信, 67
通知
説明, 64
テキスト
書き込み, 41-42
入力, 40
入力パネル, 39
手書き, 41
手書きテキストの活字体への
変換, 41-42
データ
バックアップ, 36
手書き
手書きテキストの活字体への
変換, 41
手書き文字の編集, 43
デバイスの開梱, 11
デバイスボタンとスタイラス, 21
電源ボタンの使い方, 21
同期化
お使いのコンピュータ, 22

な

ナビゲーションバー, 33
入力パネル, 39
ネットワーク
接続, 67

は

バッテリー

充電, 18

メイン, 16

使い方とインストール, 16

バッテリーの使い方, 16

ビデオ

Media Player, 92

ファイル

バックアップ, 36

検索と整理, 35

ファイルダウンロード

セキュリティ警告, 100

プログラム

ActiveSync を使用した

プログラムの追加, 81

Excel Mobile, 87

Media Player, 92

MSN Messenger, 90

Pocket Outlook, 53

PowerPoint Mobile, 89

Word Mobile, 85

アクセス, 31

切り替えバー, 32

受信, 60

スタートメニュー, 83

ダウンロード, 82

追加と削除, 81

メモ, 59

予定表, 54

連絡先, 56

削除, 83

仕事, 58

プロジェクト, 25

分類項目, 53

ヘルプ

ActiveSync Help, 79

検索, 79

ボタン

位置, 13

説明, 21

ナビゲータ, 14

プログラムボタン, 31

ホーム, 14

予定表, 14

リセット, 15

連絡先, 14

録音, 14

ポップアップメニュー, 34

ま

マイク

メッセージの録音, 47

マイテキスト, 48

挿入, 48

名前の変更

File Explorer の使い方, 65

メモ

作成, 59

メモリ

節約, 93

文字

編集, 43

モデム接続, 75

や

予定

予定の作成, 55

予定表

説明, 54

予定, 55

会議のリクエスト, 55

ら

リセット

ボタン, 15

連絡先

作成, 56

説明, 56

検索, 57

連絡先の削除, 34

録音

音声メッセージ, 47

